

2019 年度（平成 31 年度）

地域における地球温暖化防止活動促進事業（環境省）

年次レポート

家庭の省エネアンケート、及び、
気候変動・省エネに関する認知度アンケートの
集計結果報告書

令和 2 年 2 月

一般社団法人環境創造研究センター

目 次

1. 調査の実施概要	1
2. 回答者及び回答者の家庭、住宅等の属性	7
3. 家庭の省エネアンケート	13
3.1 家電ごとの省エネ行動の実施状況	13
3.2 省エネ行動の実施が難しい理由	22
4. 気候変動・省エネに関する認知度アンケート	27
5. 自由記入欄に記述された意見	37

1. 調査の実施概要

1.1.1 調査の目的

本レポートは、愛知県の一般県民を対象に、家庭の日常生活における省エネ行動の実施状況と、気候変動問題や省エネ・節電に関わる事項に対する認知度・認識度について把握するアンケート調査を実施し、その集計・分析結果を取りまとめたものである。

また、本調査はウェブサイト等で公開し、推進員、関係機関、当センターが実施する地球温暖化防止活動とその普及啓発活動において、参考資料、参考データとして活用されることを目的に実施した。

1.1.2 調査対象（回収数）

- 令和元年 6～9 月にかけて、下記イベントの一般来場者を対象に、調査票の配布・回収を行った。
- 回答済み調査票は、合計 297 部を回収した（有効票のみカウント）。

開催日	開催地域	調査を実施した出展イベントなど	回収数
6 月 16 日	田原市	田原エコフェスタ	20
8 月 24. 25 日	豊田市	とよた産業フェスタ	203
9 月 14 日	名古屋市	環境都市なごや～環境ディなごや	74
サンプル数・計／n 数			297

1.1.3 調査方法

調査票	・ 調査票の規格：A4 サイズ・全 4 頁（表紙の調査趣旨説明、裏表紙のクールチョイスPR含む／設問は約 2.5 頁）・モノクロ ・ 調査項目は、「家庭の省エネアンケート」「気候変動・省エネに関する認知度アンケート」の 2 部構成となっている。
調査方法	・ 回答者自身が調査票へ直接記入・記述する調査方法により実施。
配布・回収法方	・ イベント来場者が当センターの出展ブースへ立ち寄った際に、調査協力を呼びかけ、その場で記入回答、回収。また回答者へは景品進呈を行った。

1.1.4 調査項目（調査票）

調査票・表紙

令和元年9月14日

温室効果ガス排出実態アンケート調査

調査主体： 全国地球温暖化防止活動推進センター
調査実施： 愛知県地球温暖化防止活動推進センター
（一般社団法人環境創造研究センター内）

環境省の事業である「地域での地球温暖化防止活動基盤形成事業」の一環として、家庭からの温室効果ガス排出実態調査を実施しています。

ご家庭での家電の使用状況、省エネ行動についておたずねしているアンケートです。

ぜひご協力ください！

- 選択肢の番号に○を付けてください。
- または、下線部等に該当する言葉・数字等をご記入ください。
- わからない質問はおおよその回答で結構です。

次のページから質問スタートです

あなたの省エネ行動について

1. 下の省エネ行動について、あなたの実施状況として「1.」～「4.」の中であてはまるものに、○をつけてください。使っていない、または、持っていない家電などであった場合は、「4.持っていない」に○をつけてください。(○はそれぞれ1つのみ)

家電など	省エネ行動	1.既に実施している	2.これから実施したいと思う	3.これから実施するのは難しい	4.持っていない
冷蔵庫	1 設定温度を強から中に変更する	1	2	3	4
	2 物を詰め込みすぎないようにする	1	2	3	4
照明器具	3 白熱電球をLED電球に取り替える	1	2	3	4
テレビ	4 画面は明るすぎないように調節する	1	2	3	4
エアコン	5 夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にする	1	2	3	4
	6 フィルターを月に1回、2回清掃する	1	2	3	4
風呂給湯器	7 間隔をあけずに入浴する	1	2	3	4
	8 シャワー（温水）は流したままにしない	1	2	3	4
電気ポット	9 長時間使用しないときは電源プラグを抜く	1	2	3	4
電気カーペット	10 設定温度は低めにする	1	2	3	4
石油ファンヒーター	11 室温は20℃を目安にする	1	2	3	4
	12 着るものなどで工夫して使用時間を減らす	1	2	3	4
ガスファンヒーター	13 室温は20℃を目安にする	1	2	3	4
	14 寝る前や出掛けるときは早めにOFFにする	1	2	3	4
自動車	15 発進時のアクセルはゆっくり踏み込む	1	2	3	4
	16 走行中はできるだけ速度を一定に保つ	1	2	3	4
	17 減速時は早めのアクセルオフ（エンジンブレーキを活用）	1	2	3	4

「3.」に1つでも○がある人は下の問2へ（なければ右ページの問3へ）

2. (※前の問1で、1つでも「3. これからも実施するのは難しい」に○を付けた方のみお答えください)
「これからも実施するのは難しい」を選んだ最も大きな理由として一番あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--|--|
| <p>1 環境を守れると思わないから</p> <p>3 責任を感じないから</p> <p>5 社会から評価を受けられないと考えたから</p> <p>7 お金の節約にならないから</p> <p>9 快適さが損なわれるのが嫌だから</p> <p>11 小さな子どもがいるため難しいから</p> <p>13 その他（具体的な理由をお書きください）</p> | <p>2 社会の役に立つと思わないから</p> <p>4 やりがいや達成感が得られないから</p> <p>6 周囲がやっていないから</p> <p>8 設定などが面倒だから</p> <p>10 家族の生活サイクルが個々にちがっているから</p> <p>12 特に理由はない</p> |
|--|--|

気候変動、省エネ等で知っていることについて

3. 下の1～10について、あなたが既に知っていることには「1.」に、なんとなく聞いたこと・見たことがあると思ったものには「2.」に、今までまったく知らなかったものには「3.」に○をつけてください。(○はそれぞれ一つずつ)

		1. 知っていた	2. 聞いたことはある	3. 全く知らなかった
1	気候変動について、世界の科学者の観測結果等を取りまとめた国際的な報告書「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）評価報告書」のことを…	1	2	3
2	過去100年間で日本の気温は1.14℃上昇しており、今世紀末に世界の平均気温は最大4.8℃の上昇（1986～2005年の平均比）が予測されていることを… 【出典：IPCC第5次評価報告書】	1	2	3
3	地球温暖化の問題は、気温が高くなることのみではなく、その影響により大雨・少雨、寒波・熱波などの「異常気象」が発生しやすくなり、既に私たちが直面しつつある様々なリスクであることを…	1	2	3
4	将来予測（2076～2095年）によると、愛知県の真夏日（最高気温30℃以上）の年間日数は、現在よりも約40日増加すると予測されていることを… 【出典：東京気象台「気候変化レポート2015」】	1	2	3
5	2015年にフランス・パリで開催された「COP21（気候変動枠組条約第21回締約国会議）」のことを…	1	2	3
6	高断熱住宅はエネルギーの消費が少なくなるだけでなく、断熱性能の高い家へ引っ越すと病気になる率も激減したという調査結果があることを… 【出典：健康維持がもたらす経済的便益を考慮した住宅断熱の投資評価 日本建築学会環境系論文集第76巻第666号 735～740 2011年8月】	1	2	3
7	どの省エネ家電を選ぶと、電気代やCO ₂ 量をどのくらい少なくできるかが分かる環境省のウェブサイト「しんきゅうさん」のことを…	1	2	3
8	省エネ性能がわかりやすく表示されており、家電販売店等で家電を選ぶ目安になる「統一省エネラベル」のことを… （※省エネ性能が高い家電ほど「星」の数を多く表示する、省エネ法に基づき小売事業者が表示するラベルです。）	1	2	3
9	LEDランプはとても省エネであることを… （※電球はLEDの方が約85%も省エネです。） 【出典：省エネ賢ナビゲーション「しんきゅうさん」住まいの省エネBOOK2014年度版】	1	2	3
10	十年前の家電に比べると、今どきの冷蔵庫やテレビはとても省エネ（5割前後も省エネ）であることを… （※冷蔵庫は9年前の製品と比べて約43%、液晶テレビは8年前に比べて約65%の省エネになっています。）【出典：2016年度版 スマートライフおすすめBOOK（一財）家電製品協会】	1	2	3

※01～10については、パンフレット「クールチョイス！節エネガイド」をぜひご覧ください。

次のページへ

あなたご自身について

4. 現在お住まいの市町村をお答えください。

愛知県 _____ 市・町・村

5. あなたの性別をお答えください。

1 男性

2 女性

6. あなたの年齢をお答えください。

1 10代以下

2 20代

3 30代

4 40代

5 50代

6 60代

7 70代以上

7. ご自宅の住居形態をお答えください。

1 一戸建て

2 集合住宅

3 その他（ _____ ）

8. ご自身を含めた、ご自宅の世帯人数をお答えください。

_____ 人

9. 自由記入欄です：省エネ・節電等で疑問に思っていることなどがありましたら自由にご記入ください。

最後に、別紙・環境省「COOL CHOICE」賛同アンケートにお答えください

環境省「COOL CHOICE（クールチョイス）」

賛同アンケート→→→

ご注意：

メールアドレスの記入欄がありますが、
メールアドレスではなく、

ニックネームの記入で結構です。

苗字・姓貫のあだ名や愛称や
お子ちゃん・お孫さんの名前、
ペットの名前などでもOKです！



ご協力を誠にありがとうございました。

1.1.5 集計方法について

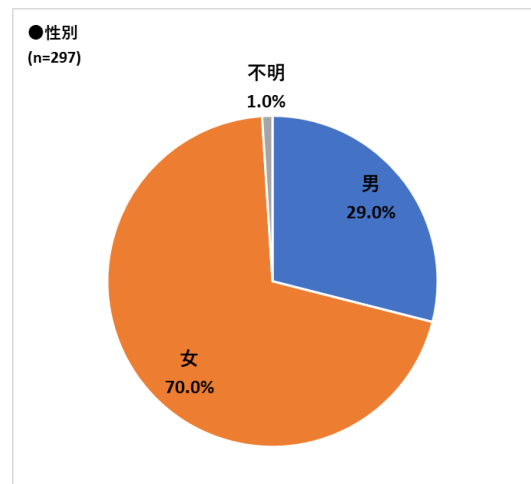
- 集計結果の各割合（%）は、各設問における回答者数を基数(n)として算出しており（「不明」、「無回答」を除いていない）、複数回答の設問では、その合計が 100%を超えることがある。
- 回答割合の集計・算出は、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、数値の合計が 100.0%にならないものもある。
 - ※ 各集計結果（表及びグラフ）で、属性ごとの回答者数を基数「n= 」として表示しており、n 数値が少ない（回答者数が少ない）属性の集計結果については、各回答割合の参照に際し、誤差が多分に含まれていることを前提とした注意を要する。

2. 回答者及び回答者の家庭、住宅等の属性

2.1.1 回答者の属性

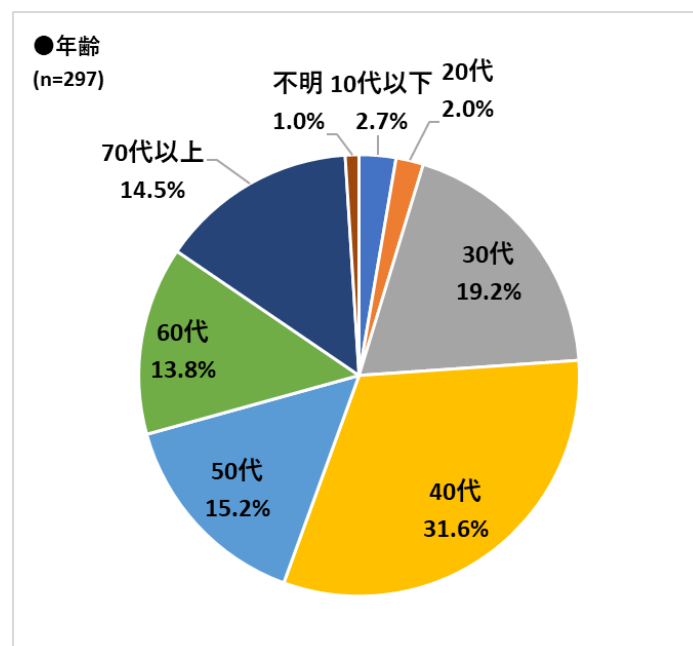
2.1.1.1 性別

- 回答者を男女別にみると、＜女性＞が 7 割を占め、＜男性＞の 3 割弱を大きく上回っており、本調査結果の回答者は女性の回答者が男性の 2 倍を超えている。



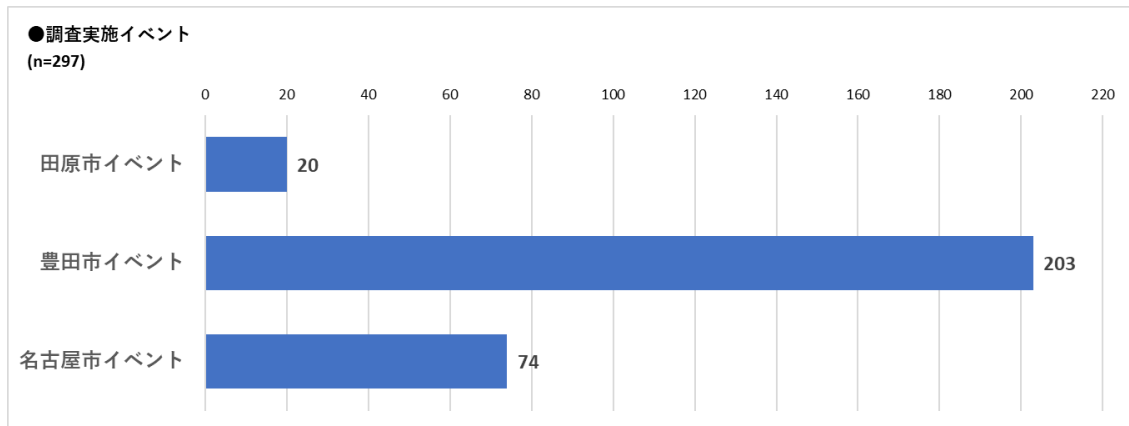
2.1.1.2 年齢

- 回答者の年齢は＜40 代＞が 3 割と最も多く、次いで、＜30 代＞が 2 割弱が多い。
- ＜60 代＞＜70 代以上＞の高齢層が合わせて 3 割弱を占めており、＜30 代＞＜40 代＞は合わせて 5 割となっている。
- ＜10 代以下＞＜20 代＞は回答者数が少ないため、本調査結果では参考値となることを留意した。
- 親子連れの来場が多かったイベント会場での調査実施がほとんどであったため、回答者には小さな子どもを連れて来場した＜30 代＞＜40 代＞の親が多く、また、回答者の 7 割が＜女性＞であることから、特に主婦層が多くなっていることがうかがえる。



2.1.1.3 居住地域

- 調査実施イベント別の回答者の数は、2 日間に渡ってイベントが開催された<豊田市イベント>（他 2 イベントの開催日数は 1 日）での回答者数が特に多くなっている。



- 回答者を居住地域別にみると、豊田市在住者が最も多く全体の約 5 割を占め、次いで、名古屋市が多くなっている。
- また、本レポートでは、名古屋市、日進市を含む<尾張地方>、豊田市を含む<西三河地方>、田原市を含む<東三河地方>の 3 地域に区分した集計を行った。

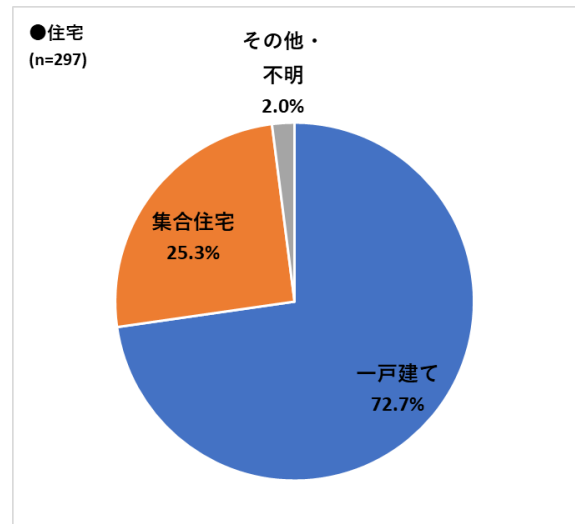


- 地域別の回答者数をみると、豊田市などの<西三河地方>在住者が6割強、名古屋市、日進市などの<尾張地方>在住者が3割強、田原市などの<東三河地方>在住者が1割以下という割合になっている。
- <東三河地方>は回答者数が少ないため、本調査結果では参考値となることを留意した。

●居住地域		
項目	回答者数	割合
名古屋市、日進市などの「尾張地方」	92	31.0%
名古屋市	78	26.3%
瀬戸市	6	2.0%
日進市	3	1.0%
春日井市	2	0.7%
尾張旭市	1	0.3%
小牧市	1	0.3%
扶桑町	1	0.3%
豊田市などの「西三河地方」	176	59.3%
豊田市	149	50.2%
岡崎市	11	3.7%
みよし市	7	2.4%
安城市	2	0.7%
刈谷市	2	0.7%
碧南市	2	0.7%
幸田町	2	0.7%
知立市	1	0.3%
田原市などの「東三河地方」	21	7.1%
田原市	18	6.1%
豊橋市	2	0.7%
豊川市	1	0.3%
その他・不明等	8	2.7%
静岡県浜松市	2	0.7%
岐阜県多治見市	1	0.3%
三重県津市	1	0.3%
滋賀県湖南市	1	0.3%
不明	3	1.0%
総計	297	100.0%

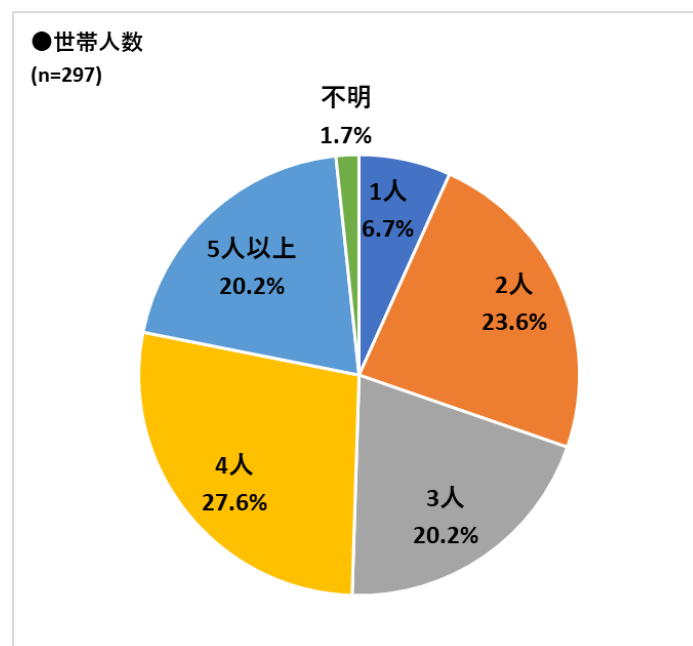
2.1.1.4 回答者の住宅

- 回答者の住宅は、約 7 割が<一戸建て>であり、<集合住宅>は 2 割強となっている。



2.1.1.5 世帯人数

- 世帯人数については、<4 人>世帯が約 3 割弱、<2 人>世帯が 2 割強と多くなっている。
- 次いで<3 人><5 人>世帯がそれぞれ約 2 割と多くなっている。
- <1 人>世帯は 1 割以下と少ない。



2.1.1.6 回答者の属性別回答者数

属性項目			回答者数		
居住 地域	性別	年齢			
名古屋市、日進市などの 「尾張地方」	男性	30代	3	27	92
		40代	4		
		50代	10		
		60代	6		
		70代以上	4		
	女性	10代以下	2	65	
		20代	1		
		30代	9		
		40代	13		
		50代	11		
		60代	15		
		70代以上	14		
豊田市などの 「西三河地方」	男性	30代	7	51	176
		40代	25		
		50代	5		
		60代	6		
		70代以上	7		
		不明	1		
	女性	10代以下	3	124	
		20代	2		
		30代	33		
		40代	44		
		50代	18		
		60代	9		
		70代以上	15		
	不明	70代以上	1	1	
田原市などの 「東三河地方」	男性	10代以下	1	6	21
		40代	1		
		50代	1		
		60代	3		
	女性	10代以下	2	15	
		20代	2		
		30代	3		
		40代	5		
		60代	2		
		70代以上	1		
その他・不明等	男性	30代	2	2	8
		20代	1	4	
	女性	40代	2		
		70代以上	1		
	不明		2	2	
総計			297		

属性項目			回答者数		
居住地域	住宅	世帯人数			
名古屋市、日進市などの「尾張地方」	一戸建て	1人	6	55	92
		2人	13		
		3人	11		
		4人	17		
		5人	6		
		6人	1		
		8人	1		
	集合住宅	1人	3	36	
		2人	18		
		3人	5		
		4人	9		
		不明	1		
	不明	1人	1	1	
豊田市などの「西三河地方」	一戸建て	1人	6	139	176
		2人	22		
		3人	32		
		4人	44		
		5人	20		
		6人	12		
		8人	2		
		不明	1		
	集合住宅	1人	3	34	
		2人	10		
		3人	7		
		4人	6		
		5人	8		
	その他	1人	1	2	
		4人	1		
	不明		1	1	
	田原市などの「東三河地方」	一戸建て	2人	5	
3人			3		
4人			2		
5人			3		
6人			4		
集合住宅		2人	1	4	
		4人	2		
		5人	1		
その他・不明等	一戸建て	3人	2	5	8
		4人	1		
		5人	2		
	集合住宅	2人	1	1	
		不明		2	
総計			297		

3. 家庭の省エネアンケート

3.1 家電ごとの省エネ行動の実施状況

3.1.1 全体

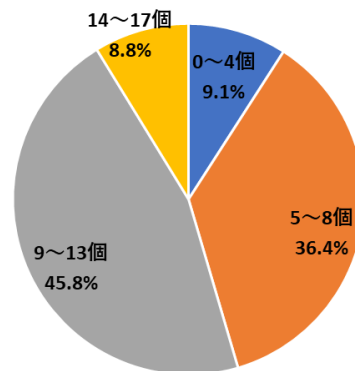
- 家庭の省エネ行動に関する全 17 項目の実施状況について、それぞれ実施の有無、または実施意向についてたずねた調査結果は下表の通りである。
- 「冷蔵庫」「照明器具」「テレビ」「風呂給湯器」「自動車」に関わる省エネ行動は、「既に実施している」割合が高く、省エネを意識した使用の仕方が浸透していることがうかがえる。
- 「エアコン（フィルター清掃）」については、「既に実施している」が 3 割強と少ないが、「これから実施したいと思う」割合が過半数を占め、多くの回答者が実施していく必要のある省エネ行動、或いは実施の必要があると認識していながら、実際にはなかなか実施できていない省エネ行動であることがうかがえる。
- 17 項目のいずれも「これからも実施するのは難しい」の割合は低いが、その中で「風呂給湯器（間隔をあけずに入浴）」「エアコン（室温設定の目安）」は比較的高い割合になっている。
- 「電気カーペット」「ガスファンヒーター」「石油ファンヒーター」は「持っていない／該当しない」の割合が 4-5 割と高く、使用家庭の少ない家電になっている。

●省エネ行動の実施状況（n=297）

●省エネ行動の実施状況（n=297）		既に実施している	これから実施したいと思う	これからも実施するのは難しい	持っていない／該当しない	無回答
冷蔵庫	1 設定温度を強から中に変更する	71.7%	24.9%	1.7%	0.7%	1.0%
	2 物を詰め込みすぎないようにする	59.6%	33.0%	5.7%	1.0%	0.7%
照明器具	3 白熱電球をLED電球に取り替える	65.7%	26.9%	4.7%	1.7%	1.0%
テレビ	4 画面は明るすぎないように調節する	61.3%	34.0%	2.4%	0.7%	1.7%
エアコン	5 夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にする	56.2%	31.0%	10.1%	2.0%	0.7%
	6 フィルターを月に1回、2回清掃する	31.0%	58.9%	5.4%	2.4%	2.4%
風呂給湯器	7 間隔をあけずに入浴する	60.9%	23.6%	13.1%	1.7%	0.7%
	8 シャワー（温水）は流したままにしない	76.4%	16.2%	3.4%	1.7%	2.4%
電気ポット	9 長時間使用しないときは電源プラグを抜く	48.1%	24.9%	8.4%	17.2%	1.3%
電気カーペット	10 設定温度は低めにする	39.4%	14.1%	2.4%	41.4%	2.7%
石油ファンヒーター	11 室温は20℃を目安にする	33.0%	16.8%	2.7%	44.4%	3.0%
	12 着るものなどで工夫して使用時間を減らす	35.4%	16.5%	1.3%	43.1%	3.7%
ガスファンヒーター	13 室温は20℃を目安にする	22.6%	14.1%	3.0%	53.5%	6.7%
	14 寝る前や出掛けるときは早めにOFFにする	26.9%	12.1%	0.7%	53.5%	6.7%
自動車	15 発進時のアクセルはゆっくり踏み込む	67.7%	15.2%	1.7%	14.1%	1.3%
	16 走行中はできるだけ速度を一定に保つ	67.7%	14.5%	1.7%	13.8%	2.4%
	17 減速時は早めのアクセルオフ（エンジンブレーキを活用）	65.3%	16.2%	2.0%	14.1%	2.4%

- 家電使用の省エネ行動 17 項目の中で「既の実施している」と答えた項目の数をみていくと、回答者の4割強が「9～13 個」の項目を実施していると答えており、次いで、3 割強の回答者が「5～8 個」の項目を実施していると答えている。

●省エネ行動の実施状況17項目で「既の実施している」の数（n=297）



3.1.2 居住地域別

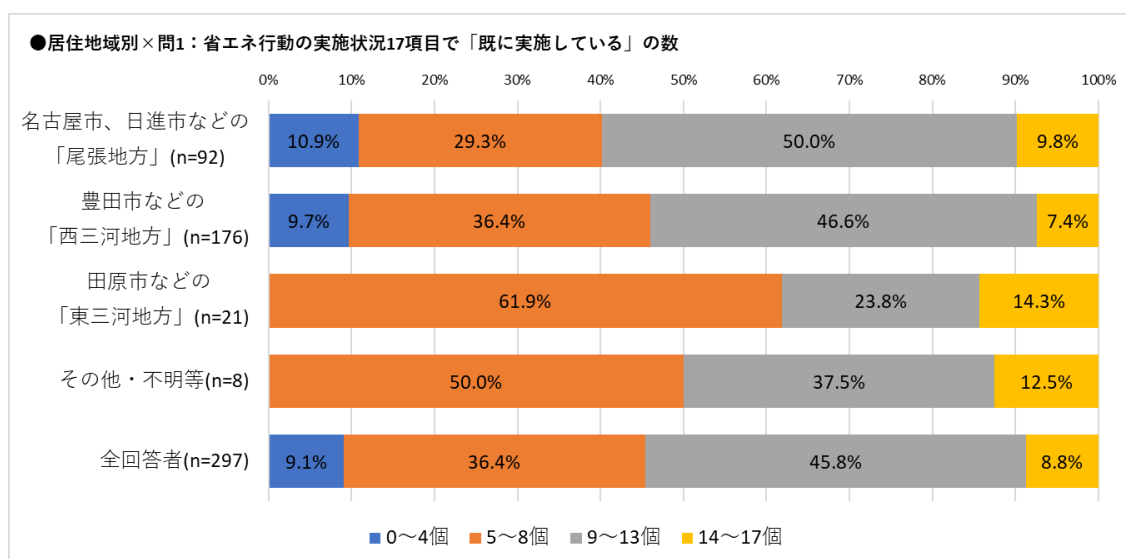
- 回答者の居住地域別に「既の実施している」の割合をみると、全般的に実施割合に大きな差異は見られない。
- そのなかで、「テレビ（画面の明るさ調整）」「エアコン（フィルター清掃）」「風呂給湯器（間隔をあけずに入浴）」は、＜尾張地方＞の実施している割合が他の地域に比べて高くなっている。
- 「電気ポット」「電気カーペット」「石油ファンヒーター」については、＜東三河地方＞の実施している割合が他の地域に比べて高くなっている。

省エネ行動		「既の実施している」			
		名古屋市、日進市などの「尾張地方」 (n=92)	豊田市などの「西三河地方」 (n=176)	田原市などの「東三河地方」 (n=21)	その他・不明など (n=8)
冷蔵庫	1 設定温度を強から中に変更する	75.0%	68.8%	71.4%	100.0%
	2 物を詰め込みすぎないようにする	67.4%	55.1%	52.4%	87.5%
照明器具	3 白熱電球をLED電球に取り替える	58.7%	68.2%	61.9%	100.0%
テレビ	4 画面は明るすぎないように調節する	71.7%	57.4%	42.9%	75.0%
エアコン	5 夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にする	56.5%	56.8%	52.4%	50.0%
	6 フィルターを月に1回、2回清掃する	40.2%	27.8%	19.0%	25.0%
風呂給湯器	7 間隔をあけずに入浴する	72.8%	55.7%	52.4%	62.5%
	8 シャワー（温水）は流したままにしない	82.6%	72.7%	81.0%	75.0%
電気ポット	9 長時間使用しないときは電源プラグを抜く	46.7%	46.6%	57.1%	75.0%
電気カーペット	10 設定温度は低めにする	34.8%	40.9%	52.4%	25.0%
石油ファンヒーター	11 室温は20℃を目安にする	29.3%	33.5%	47.6%	25.0%
	12 着るものなどで工夫して使用時間を減らす	35.9%	33.5%	57.1%	12.5%
ガスファンヒーター	13 室温は20℃を目安にする	28.3%	19.9%	28.6%	0.0%
	14 寝る前や出掛けるときは早めにOFFにする	31.5%	24.4%	33.3%	12.5%
自動車	15 発進時のアクセルはゆっくり踏み込む	63.0%	72.2%	52.4%	62.5%
	16 走行中はできるだけ速度を一定に保つ	57.6%	72.7%	71.4%	62.5%
	17 減速時は早めのアクセルオフ（エンジンブレーキを活用）	58.7%	67.6%	76.2%	62.5%

- 居住地域別に「これからも実施するのが難しい」の割合をみると、17項目いずれも低い。
- その中で、＜西三河地方＞の「風呂給湯器（間隔をあけずに入浴）」と、＜東三河地方＞の「冷蔵庫（物を詰め込みすぎない）」の実施が難しいとする割合が他に比べて高くなっている。

省エネ行動		居住地域	「これからも実施するのは難しい」			
			名古屋市、日進市などの「尾張地方」(n=92)	豊田市などの「西三河地方」(n=176)	田原市などの「東三河地方」(n=21)	その他・不明など(n=8)
冷蔵庫	1	設定温度を強から中に変更する	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%
	2	物を詰め込みすぎないようにする	4.3%	5.7%	14.3%	0.0%
照明器具	3	白熱電球をLED電球に取り替える	4.3%	5.7%	0.0%	0.0%
テレビ	4	画面は明るすぎないように調節する	2.2%	2.8%	0.0%	0.0%
エアコン	5	夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にする	10.9%	9.7%	0.0%	37.5%
	6	フィルターを月に1回、2回清掃する	4.3%	5.7%	0.0%	25.0%
風呂給湯器	7	間隔をあけずに入浴する	6.5%	15.9%	9.5%	37.5%
	8	シャワー（温水）は流したままにしない	2.2%	4.5%	0.0%	0.0%
電気ポット	9	長時間使用しないときは電源プラグを抜く	8.7%	9.1%	0.0%	12.5%
電気カーペット	10	設定温度は低めにする	2.2%	2.8%	0.0%	0.0%
石油ファンヒーター	11	室温は20℃を目安にする	3.3%	2.8%	0.0%	0.0%
	12	着るものなどで工夫して使用時間を減らす	1.1%	1.7%	0.0%	0.0%
ガスファンヒーター	13	室温は20℃を目安にする	4.3%	1.7%	0.0%	25.0%
	14	寝る前や出掛けるときは早めにOFFにする	0.0%	0.6%	0.0%	12.5%
自動車	15	発進時のアクセルはゆっくり踏み込む	1.1%	2.3%	0.0%	0.0%
	16	走行中はできるだけ速度を一定に保つ	1.1%	2.3%	0.0%	0.0%
	17	減速時は早めのアクセルオフ（エンジブレーキを活用）	1.1%	2.3%	0.0%	12.5%

- 17項目の中で「既に実施している」と答えた項目の数を居住地域別にみると、＜東三河地方＞在住回答者の「既に実施している」と答えた項目数が、他地域と比べて多い傾向がみられる。

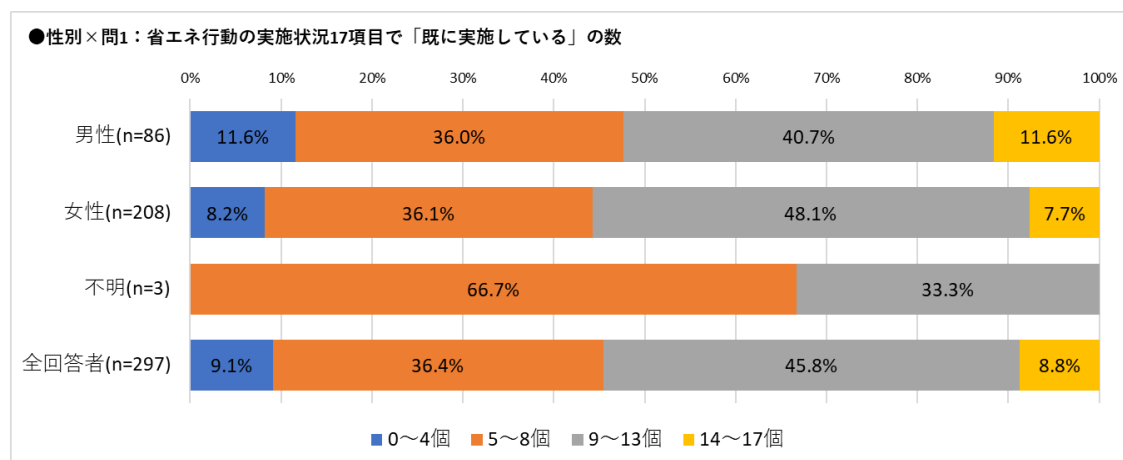


3.1.3 男女別

- 男女別に家電使用の省エネ行動における「既に実施している」の割合をみると、全般的に大きな差は見られない結果となっている。
- その中で、「自動車」の運転については、3項目とも<女性>の「既に実施している」の割合が<男性>より低くなっている。
- 「これからも実施するのは難しい」の割合をみると、「風呂給湯器（間隔をあけずに入浴）」「電気ポット（電源プラグを抜く）」で、<男性>の「これからも実施するのは難しい」の割合が<女性>よりもやや高い。
- <男性>は「これからも実施するのは難しい」の割合が<女性>より僅かに高い項目が、全般的に多くなっている。

		「既に実施している」			「これからも実施するのは難しい」		
		男性 (n=86)	女性 (n=208)	不明 (n=3)	男性 (n=86)	女性 (n=208)	不明 (n=3)
省エネ行動	性別						
冷蔵庫	1 設定温度を強から中に変更する	65.1%	74.5%	66.7%	3.5%	1.0%	0.0%
	2 物を詰め込みすぎないようにする	52.3%	62.5%	66.7%	7.0%	5.3%	0.0%
照明器具	3 白熱電球をLED電球に取り替える	62.8%	66.3%	100.0%	5.8%	4.3%	0.0%
テレビ	4 画面は明るすぎないように調節する	62.8%	60.1%	100.0%	4.7%	1.4%	0.0%
エアコン	5 夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にする	52.3%	58.7%	0.0%	9.3%	10.1%	33.3%
	6 フィルターを月に1回、2回清掃する	31.4%	30.3%	66.7%	7.0%	4.8%	0.0%
風呂給湯器	7 間隔をあけずに入浴する	51.2%	64.9%	66.7%	19.8%	10.1%	33.3%
	8 シャワー（温水）は流したままにしない	70.9%	78.8%	66.7%	5.8%	2.4%	0.0%
電気ポット	9 長時間使用しないときは電源プラグを抜く	43.0%	50.0%	66.7%	17.4%	4.8%	0.0%
電気カーペット	10 設定温度は低めにする	43.0%	38.5%	0.0%	4.7%	1.4%	0.0%
石油ファンヒーター	11 室温は20℃を目安にする	31.4%	34.1%	0.0%	4.7%	1.9%	0.0%
	12 着るものなどで工夫して使用時間を減らす	30.2%	38.0%	0.0%	2.3%	1.0%	0.0%
ガスファンヒーター	13 室温は20℃を目安にする	20.9%	23.6%	0.0%	4.7%	1.9%	33.3%
	14 寝る前や出掛けるときは早めにOFFにする	24.4%	27.9%	33.3%	1.2%	0.0%	33.3%
自動車	15 発進時のアクセルはゆっくり踏み込む	72.1%	66.3%	33.3%	3.5%	1.0%	0.0%
	16 走行中はできるだけ速度を一定に保つ	75.6%	64.9%	33.3%	1.2%	1.9%	0.0%
	17 減速時は早めのアクセルオフ（エンジンブレーキを活用）	75.6%	61.5%	33.3%	3.5%	1.4%	0.0%

- 17 項目の中で「既に実施している」と答えた項目の数を男女別にみると、<男性>は「0～4 個」の項目を実施しているという回答が<女性>より多い一方で、「14～17 個」の項目を実施しているという回答も<女性>より多くなっている。



3.1.4 年齢別

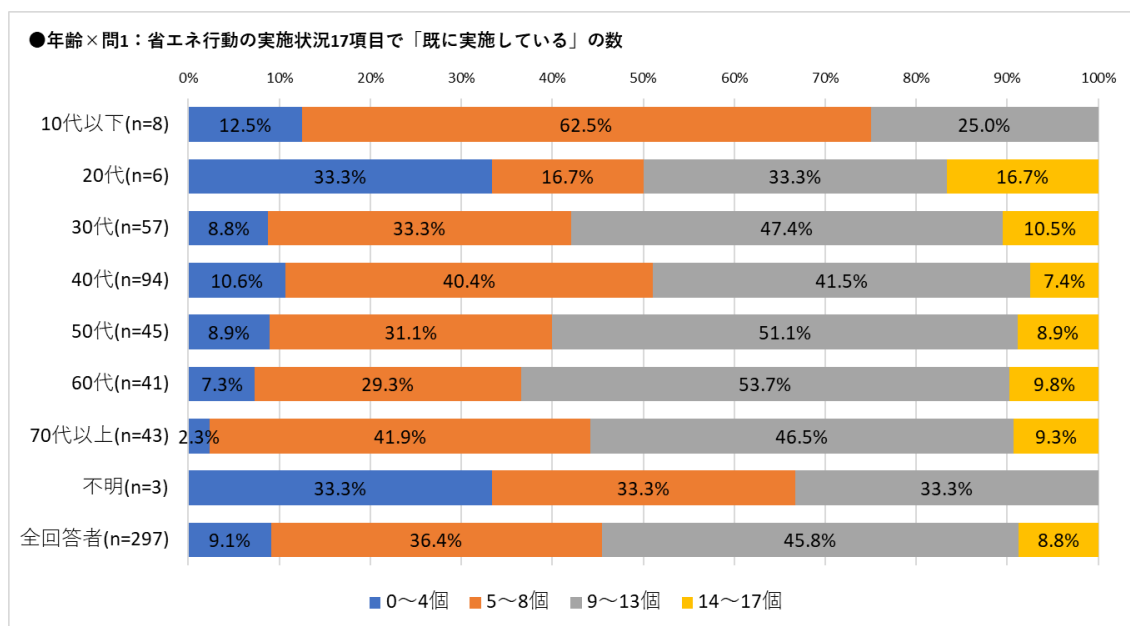
- <30 代>は「電気カーペット（設定温度は低め）」「石油ファンヒーター（室温は 20℃を目安）」を実施している割合が他の年齢よりも低いが、一方で「冷蔵庫（設定温度を強から中に）」「照明器具（LED 電球に取り替える）」「自動車（発進時のアクセルはゆっくり踏む）」を実施している割合が他の年齢よりも高くなっている。
- <40 代>は全体的に実施している割合が他の年齢と比べて低いものが多いが、「自動車（走行中は速度を一定に保つ）」を実施している割合については他の年齢よりも高い。
- <70 代>は実施している割合が全体的に高いが、「自動車」の省エネ行動に関しては実施している割合が低く、特に「走行中は速度を一定に保つ」が低くなっている。
- 「エアコン（フィルター清掃）」は年齢が高くなるほど実施している割合が高くなる傾向がみられるが、いずれの年齢層も実施している割合が低く、特に<40 代>が低い割合になっている。
- 「風呂給湯器（間隔をあけずに入浴）」は<40 代><50 代>の実施している割合が低く、<30 代><70 代以上>は高い。
- 「石油ファンヒーター」は年齢が高くなるほど実施している割合が高くなる傾向がみられる。

			「既に実施している」				
年齢			30代 (n=57)	40代 (n=94)	50代 (n=45)	60代 (n=41)	70代 (n=43)
省エネ行動							
冷蔵庫	1	設定温度を強から中に変更する	82.5%	67.0%	77.8%	68.3%	69.8%
	2	物を詰め込みすぎないようにする	54.4%	55.3%	66.7%	65.9%	65.1%
照明器具	3	白熱電球をLED電球に取り替える	70.2%	69.1%	66.7%	58.5%	60.5%
テレビ	4	画面は明るすぎないように調節する	59.6%	56.4%	71.1%	58.5%	72.1%
エアコン	5	夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にする	57.9%	50.0%	57.8%	56.1%	74.4%
	6	フィルターを月に1回、2回清掃する	26.3%	22.3%	37.8%	36.6%	44.2%
風呂 給湯器	7	間隔をあけずに入浴する	71.9%	54.3%	48.9%	68.3%	76.7%
	8	シャワー（温水）は流したままにしない	84.2%	70.2%	71.1%	75.6%	86.0%
電気ポット	9	長時間使用しないときは電源プラグを抜く	45.6%	46.8%	46.7%	43.9%	53.5%
電気 カーペット	10	設定温度は低めにする	28.1%	40.4%	48.9%	41.5%	46.5%
石油ファン ヒーター	11	室温は20℃を目安にする	22.8%	25.5%	33.3%	43.9%	51.2%
	12	着るものなどで工夫して使用時間を減らす	31.6%	28.7%	35.6%	41.5%	46.5%
ガスファン ヒーター	13	室温は20℃を目安にする	26.3%	22.3%	22.2%	22.0%	20.9%
	14	寝る前や出掛けるときは早めにOFFにする	29.8%	26.6%	26.7%	22.0%	27.9%
自動車	15	発進時のアクセルはゆっくり踏み込む	78.9%	70.2%	73.3%	70.7%	51.2%
	16	走行中はできるだけ速度を一定に保つ	73.7%	75.5%	68.9%	70.7%	48.8%
	17	減速時は早めのアクセルオフ（エンジンブレーキを活用）	68.4%	66.0%	71.1%	70.7%	55.8%

- 年齢別に「これからも実施するのは難しい」の割合をみると、全体的に「エアコン（設定温度の目安）」「風呂給湯器（間隔をあけずに入浴）」が高く、特に<40 代>の「風呂給湯器（間隔をあけずに入浴）」をこれからも実施するのは難しいと答えた割合が約 2 割と高くなっている。

			「これからも実施するのは難しい」				
		年齢	30代 (n=57)	40代 (n=94)	50代 (n=45)	60代 (n=41)	70代 (n=43)
省エネ行動							
冷蔵庫	1	設定温度を強から中に変更する	1.8%	3.2%	2.2%	0.0%	0.0%
	2	物を詰め込みすぎないようにする	8.8%	7.4%	2.2%	4.9%	0.0%
照明器具	3	白熱電球をLED電球に取り替える	8.8%	4.3%	2.2%	4.9%	2.3%
テレビ	4	画面は明るすぎないように調節する	1.8%	1.1%	4.4%	2.4%	0.0%
エアコン	5	夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にする	17.5%	8.5%	15.6%	2.4%	0.0%
	6	フィルターを月に1回、2回清掃する	1.8%	9.6%	2.2%	2.4%	2.3%
風呂 給湯器	7	間隔をあけずに入浴する	10.5%	20.2%	13.3%	4.9%	2.3%
	8	シャワー（温水）は流したままにしない	1.8%	6.4%	4.4%	2.4%	0.0%
電気ポット	9	長時間使用しないときは電源プラグを抜く	8.8%	10.6%	6.7%	7.3%	7.0%
電気 カーペット	10	設定温度は低めにする	0.0%	4.3%	0.0%	2.4%	0.0%
石油ファン ヒーター	11	室温は20℃を目安にする	1.8%	2.1%	2.2%	2.4%	2.3%
	12	着るものなどで工夫して使用時間を減らす	3.5%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%
ガスファン ヒーター	13	室温は20℃を目安にする	7.0%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	14	寝る前や出掛けるときは早めにOFFにする	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%
自動車	15	発進時のアクセルはゆっくり踏み込む	0.0%	2.1%	2.2%	2.4%	2.3%
	16	走行中はできるだけ速度を一定に保つ	0.0%	2.1%	2.2%	2.4%	2.3%
	17	減速時は早めのアクセルオフ（エンジンブレーキを活用）	1.8%	3.2%	2.2%	0.0%	2.3%

- 17 項目の中で「既に実施している」と答えた項目の数を年齢別にみると、<10 代以下>は実施している項目が少なく、高齢になるほど多くなっている。



3.1.5 世帯人数別

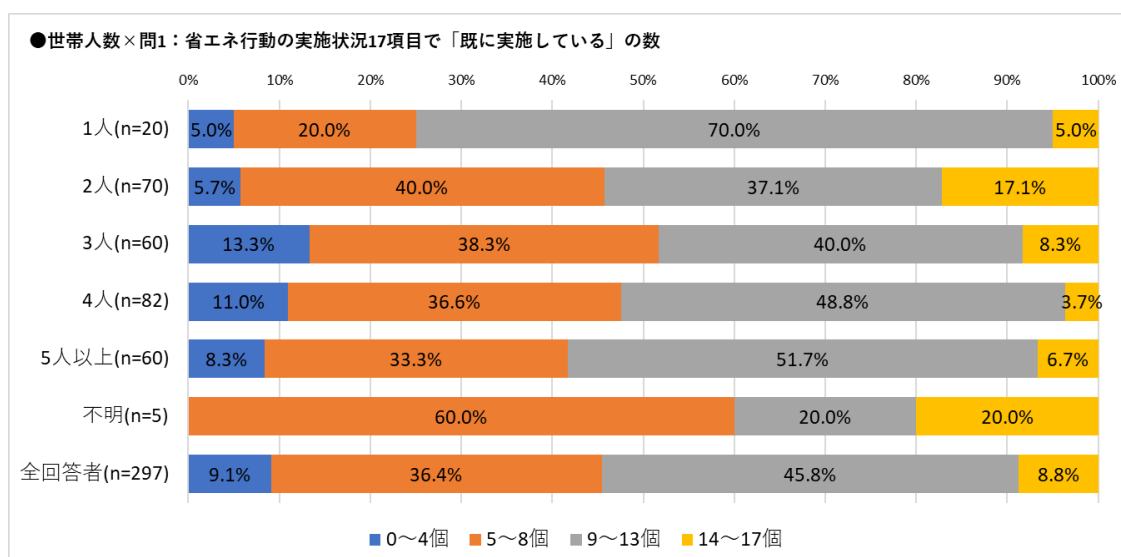
- 回答者の家庭の世帯人数別に「既に実施している」の割合をみると、「冷蔵庫(詰め込みすぎない)」「エアコン」「風呂給湯器」「電気ポット」「電気カーペット」「石油ファンヒーター（着るもので工夫）」「ガスファンヒーター」の省エネ行動では、＜1人＞世帯の実施している割合が高くなっている。
- 反対に、「自動車」は＜1人＞世帯の実施している割合が他世帯に比べて低い。
- 「冷蔵庫」「エアコン（設定温度の目安）」「風呂給湯器（間隔をあけずに入浴）」「電気カーペット（設定温度は低め）」「石油ファンヒーター（着るもので工夫）」「ガスファンヒーター」の省エネ行動では、全体的に世帯人数が多いほど実施している割合が低くなっている。
- 「自動車」の運転の省エネ行動については、全体的に世帯人数が多いほど実施している割合が高くなっている。

		「既に実施している」				
		世帯人数				
省エネ行動		1人 (n=20)	2人 (n=70)	3人 (n=60)	4人 (n=82)	5人以上 (n=60)
冷蔵庫	1 設定温度を強から中に変更する	80.0%	80.0%	65.0%	75.6%	61.7%
	2 物を詰め込みすぎないようにする	75.0%	67.1%	53.3%	53.7%	60.0%
照明器具	3 白熱電球をLED電球に取り替える	65.0%	65.7%	60.0%	63.4%	76.7%
テレビ	4 画面は明るすぎないように調節する	65.0%	68.6%	51.7%	56.1%	65.0%
エアコン	5 夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にする	70.0%	61.4%	51.7%	51.2%	58.3%
	6 フィルターを月に1回、2回清掃する	40.0%	32.9%	28.3%	24.4%	33.3%
風呂給湯器	7 間隔をあけずに入浴する	95.0%	65.7%	48.3%	63.4%	53.3%
	8 シャワー（温水）は流したままにしない	90.0%	80.0%	71.7%	73.2%	76.7%
電気ポット	9 長時間使用しないときは電源プラグを抜く	55.0%	51.4%	48.3%	41.5%	50.0%
電気カーペット	10 設定温度は低めにする	50.0%	44.3%	40.0%	36.6%	35.0%
石油ファンヒーター	11 室温は20℃を目安にする	40.0%	40.0%	40.0%	22.0%	31.7%
	12 着るものなどで工夫して使用時間を減らす	55.0%	41.4%	36.7%	29.3%	30.0%
ガスファンヒーター	13 室温は20℃を目安にする	30.0%	27.1%	28.3%	17.1%	16.7%
	14 寝る前や出掛けるときは早めにOFFにする	40.0%	28.6%	30.0%	23.2%	21.7%
自動車	15 発進時のアクセルはゆっくり踏み込む	35.0%	61.4%	68.3%	78.0%	71.7%
	16 走行中はできるだけ速度を一定に保つ	35.0%	60.0%	66.7%	76.8%	78.3%
	17 減速時は早めのアクセルオフ（エンジンブレーキを活用）	45.0%	61.4%	60.0%	72.0%	75.0%

- 世帯人数別に「これからも実施するのは難しい」の割合をみた場合、<3 人>世帯の「風呂給湯器（間隔をあけずに入浴）」の割合が他世帯に比べて特になくなっている。

省エネ行動		世帯人数	「これからも実施するのは難しい」				
			1人 (n=20)	2人 (n=70)	3人 (n=60)	4人 (n=82)	5人以上 (n=60)
冷蔵庫	1	設定温度を強から中に変更する	0.0%	0.0%	6.7%	1.2%	0.0%
	2	物を詰め込みすぎないようにする	0.0%	4.3%	6.7%	6.1%	8.3%
照明器具	3	白熱電球をLED電球に取り替える	5.0%	5.7%	6.7%	4.9%	1.7%
テレビ	4	画面は明るすぎないように調節する	0.0%	2.9%	1.7%	3.7%	1.7%
エアコン	5	夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にする	15.0%	8.6%	13.3%	7.3%	10.0%
	6	フィルターを月に1回、2回清掃する	10.0%	1.4%	6.7%	9.8%	1.7%
風呂給湯器	7	間隔をあけずに入浴する	0.0%	5.7%	23.3%	13.4%	15.0%
	8	シャワー（温水）は流したままにしない	0.0%	1.4%	6.7%	3.7%	3.3%
電気ポット	9	長時間使用しないときは電源プラグを抜く	0.0%	5.7%	15.0%	8.5%	8.3%
電気カーペット	10	設定温度は低めにする	0.0%	1.4%	3.3%	2.4%	3.3%
石油ファンヒーター	11	室温は20℃を目安にする	5.0%	1.4%	5.0%	2.4%	1.7%
	12	着るものなどで工夫して使用時間を減らす	0.0%	1.4%	0.0%	2.4%	1.7%
ガスファンヒーター	13	室温は20℃を目安にする	0.0%	1.4%	3.3%	3.7%	3.3%
	14	寝る前や出掛けるときは早めにOFFにする	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%
自動車	15	発進時のアクセルはゆっくり踏み込む	5.0%	1.4%	3.3%	0.0%	1.7%
	16	走行中はできるだけ速度を一定に保つ	10.0%	0.0%	1.7%	1.2%	1.7%
	17	減速時は早めのアクセルオフ（エンジンブレーキを活用）	10.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%

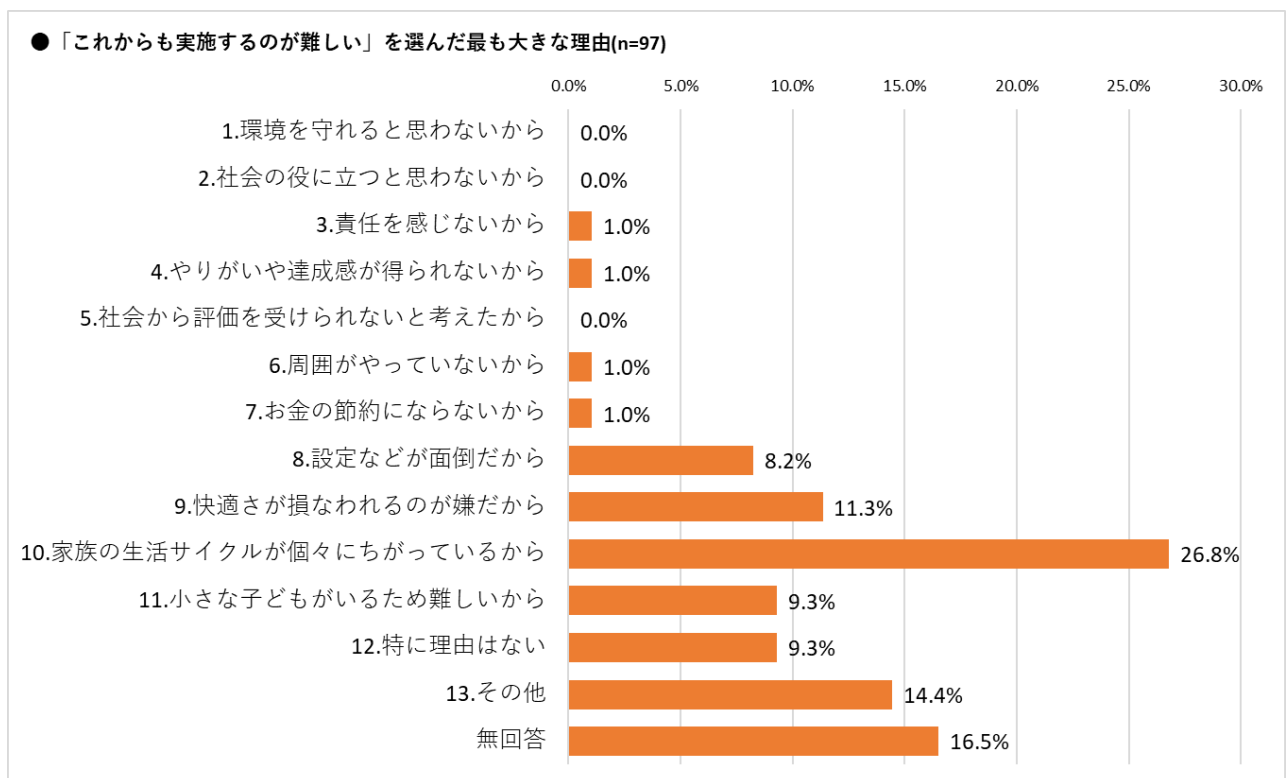
- 17 項目の中で「既に実施している」と答えた項目の数を世帯人数別にみると、<2 人>世帯が実施している項目の数が多いことから、夫婦世帯は省エネ行動を実行しやすい傾向がうかがえる。



3.2 省エネ行動の実施が難しい理由

3.2.1 全体

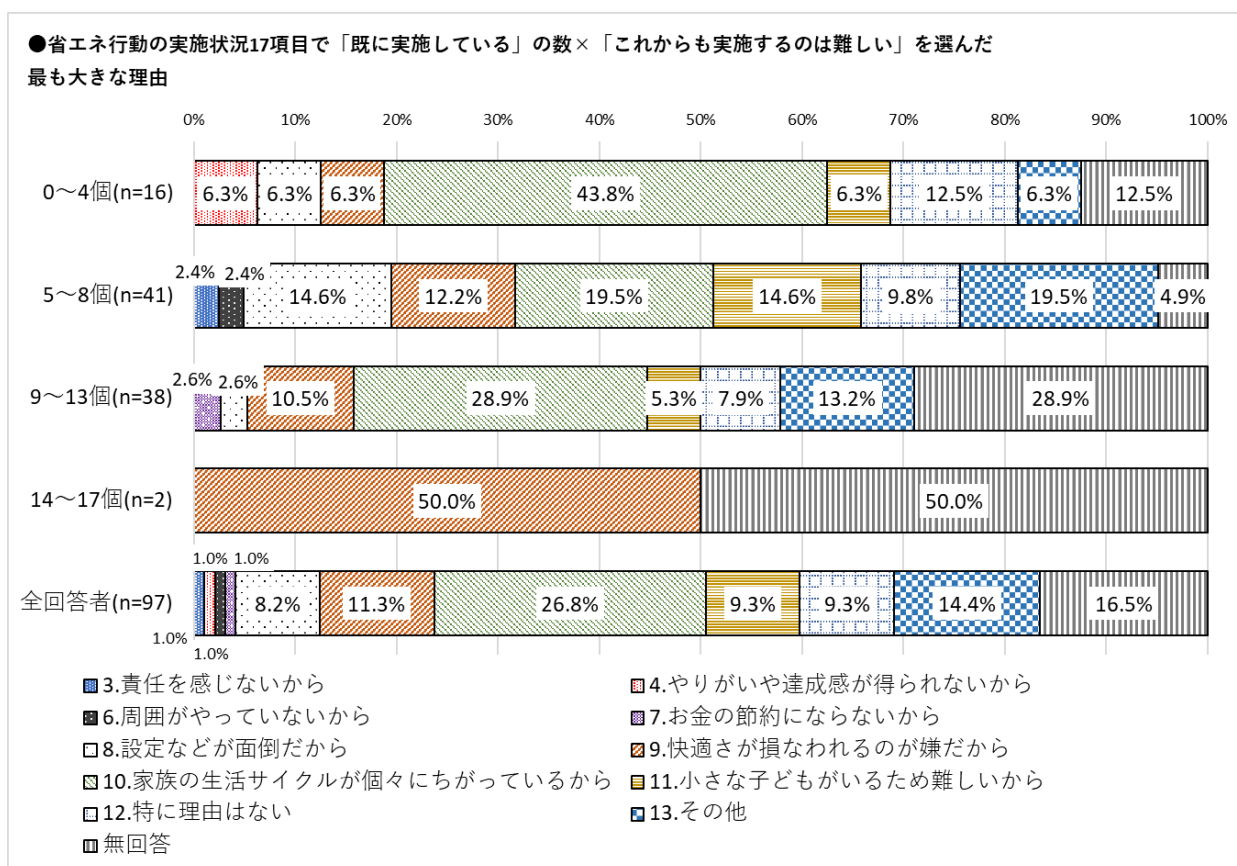
- 設問の家電使用における省エネ行動 17 項目のうち 1 項目でも「これからも実施するのは難しい」と答えた回答者 97 名を対象に、その理由（最大の理由 1 つのみを選択）についてたずねたところ、「家族の生活サイクルが個々にちがっているから」が 2 割強と最も多くなっている。
- 特に、「風呂給湯器（間隔をあけずに入浴）」を「これからも実施するのは難しい」と答えた回答者 39 名については、そのうち 6 割にあたる 24 名が「家族の生活サイクルが個々にちがっているから」と回答している。



【その他（回答記述 9）】

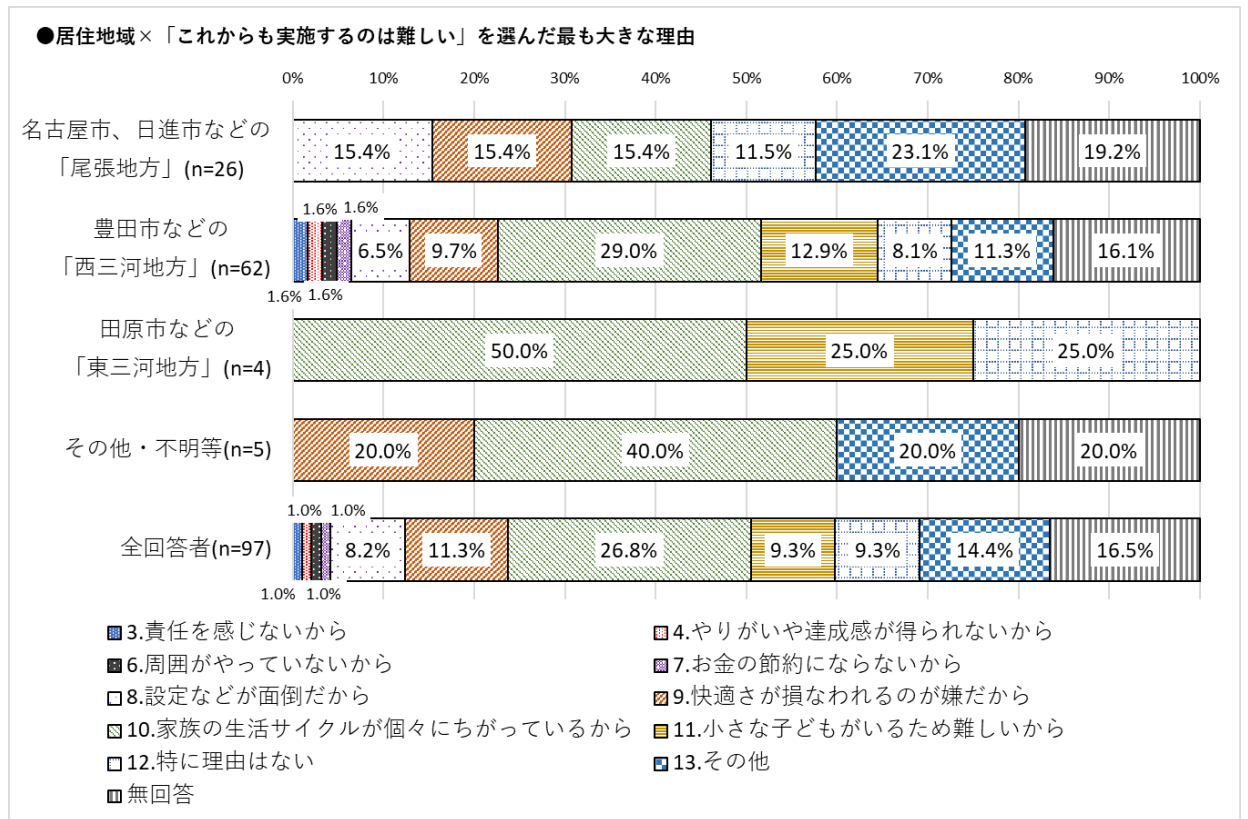
(LED 電球を) 取り付けができない場所がある。
めんどくさい。
さむがりだから。
エアコン 28 度は暑いから。
手間がかかるから。
エンジンプレーキが付いていない。
特殊な電球のため。
仕事の帰りが遅い。
夏は暑すぎる！

- 省エネ行動の実施状況 17 項目で「既に実施している」の項目数別に「これからも実施するのは難しい」の理由をみていくと、省エネ行動の実施項目が<0～4 個>の回答者は「家族の生活サイクルが個々にちがっているから」の割合が特になくなっている。
- 省エネ行動の実施項目が<5～8 個>の回答者では、「家族の生活サイクルが個々にちがっているから」「その他」の割合が最も高く、次いで「設定などが面倒だから」「小さな子どもがいるため難しいから」の割合が高くなっている。
- 省エネ行動の実施項目が<9～13 個>の回答者では、「家族の生活サイクルが個々にちがっているから」が最も高く、次いで「その他」の割合が高い。



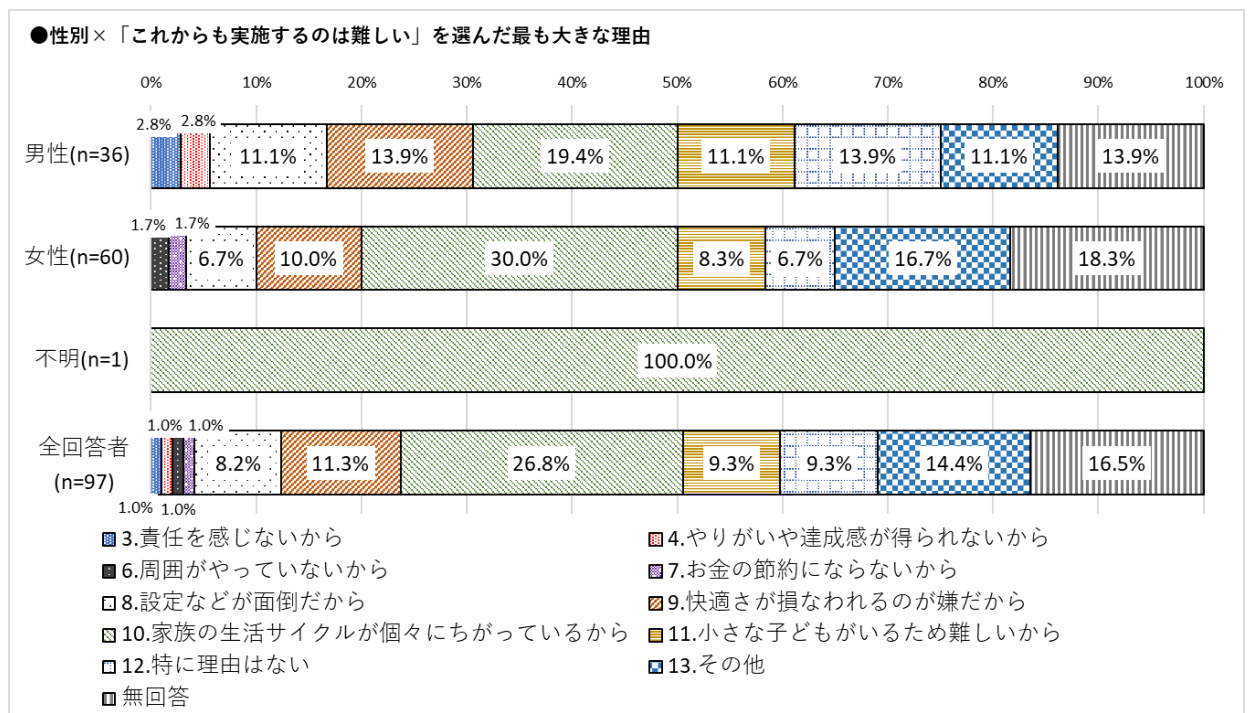
3.2.2 居住地域別

- 回答者の居住地域別に実施が難しい理由をみると、特に<東三河地方>在住者の「家族の生活サイクルが個々にちがっているから」の割合が高い。
- <尾張地方>在住者では、「設定などが面倒だから」「快適さが損なわれるのが嫌だから」「その他」の割合が他地域に比べて高く、反対に「小さな子どもがいるため難しいから」の割合が低い。
- 「特に理由はない」の割合については、<西三河地方>在住者の割合が 3 地域の中で一番少ない結果となっている。



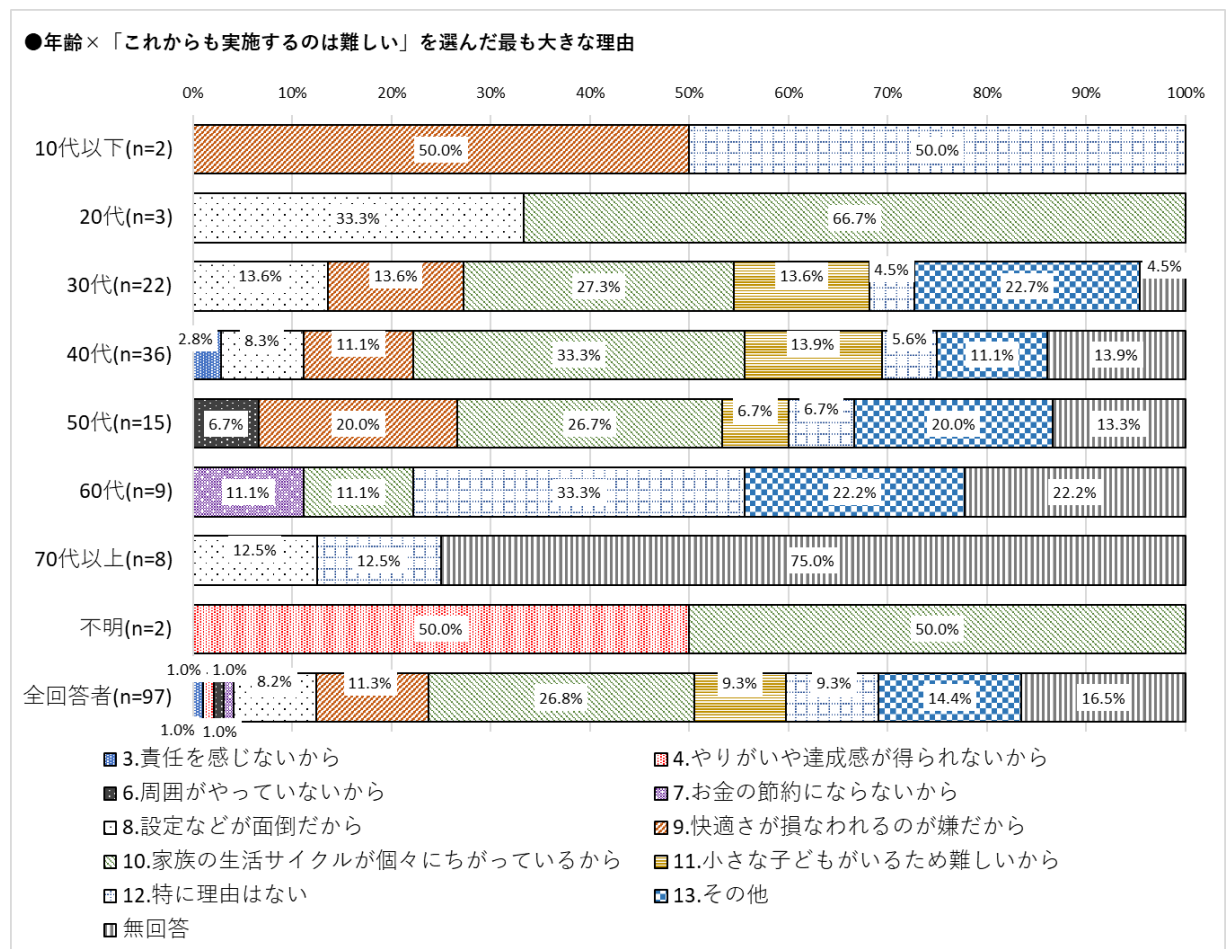
3.2.3 男女別

- 男女別に実施が難しい理由をみると、「家族の生活サイクルが個々にちがっているから」「その他」の割合は、＜男性＞よりも＜女性＞の方が高くなっている。
- 反対に、「設定などが面倒だから」「快適さが損なわれるのが嫌だから」「小さな子どもがいるため難しいから」「特に理由はない」の割合は＜男性＞の方が高い。



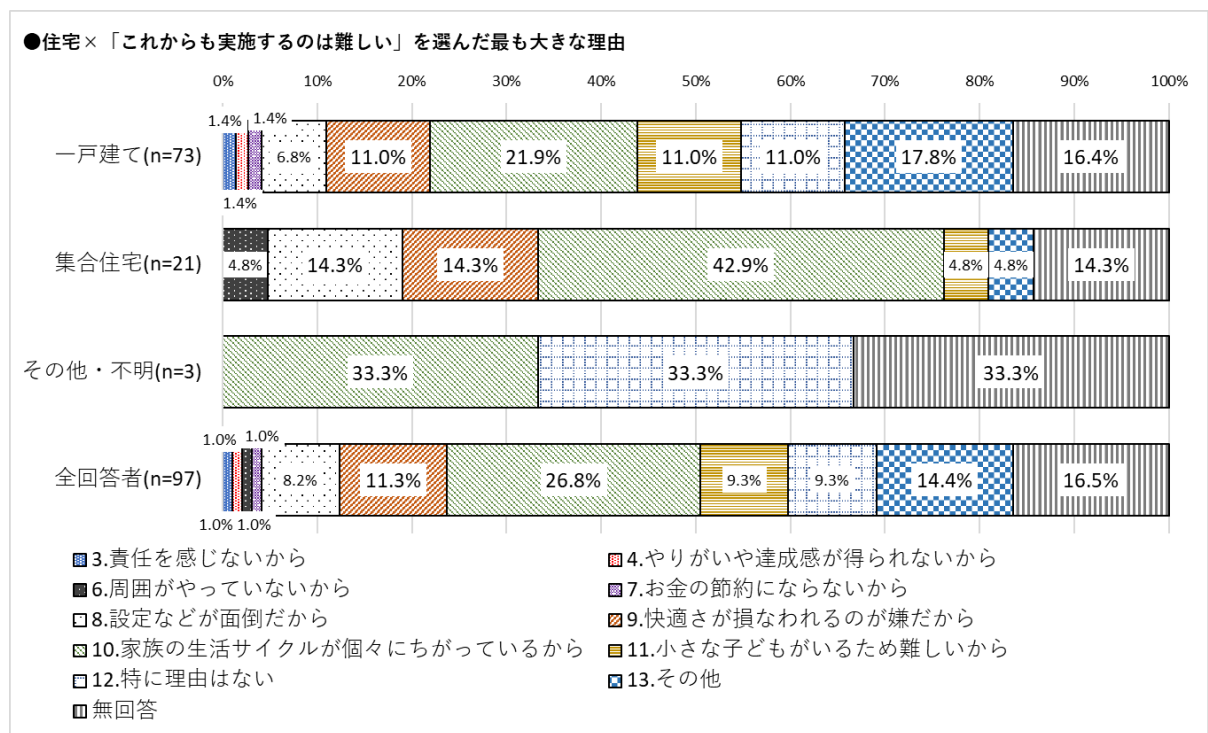
3.2.4 年齢別

- 回答者の年齢別に実施が難しい理由をみると、<30代><40代>で「小さな子どもがいるため難しいから」の割合が他の年代層に比べて高くなっている。
- 「家族の生活サイクルが個々にちがっているから」の割合は<20代><30代><40代><50代>で高く、特に<20代>は6割を超えている。
- サンプル数が少ないため参考値となるが、<10代>では「快適さが損なわれるのが嫌だから」「特に理由はない」の回答が多くなっている。
- <50代>では「家族の生活サイクルが個々にちがっているから」に次いで「快適さが損なわれるのが嫌だから」が高くなっている。
- <60代>では「特に理由はない」の割合が他年代の層に比べて特に高い。



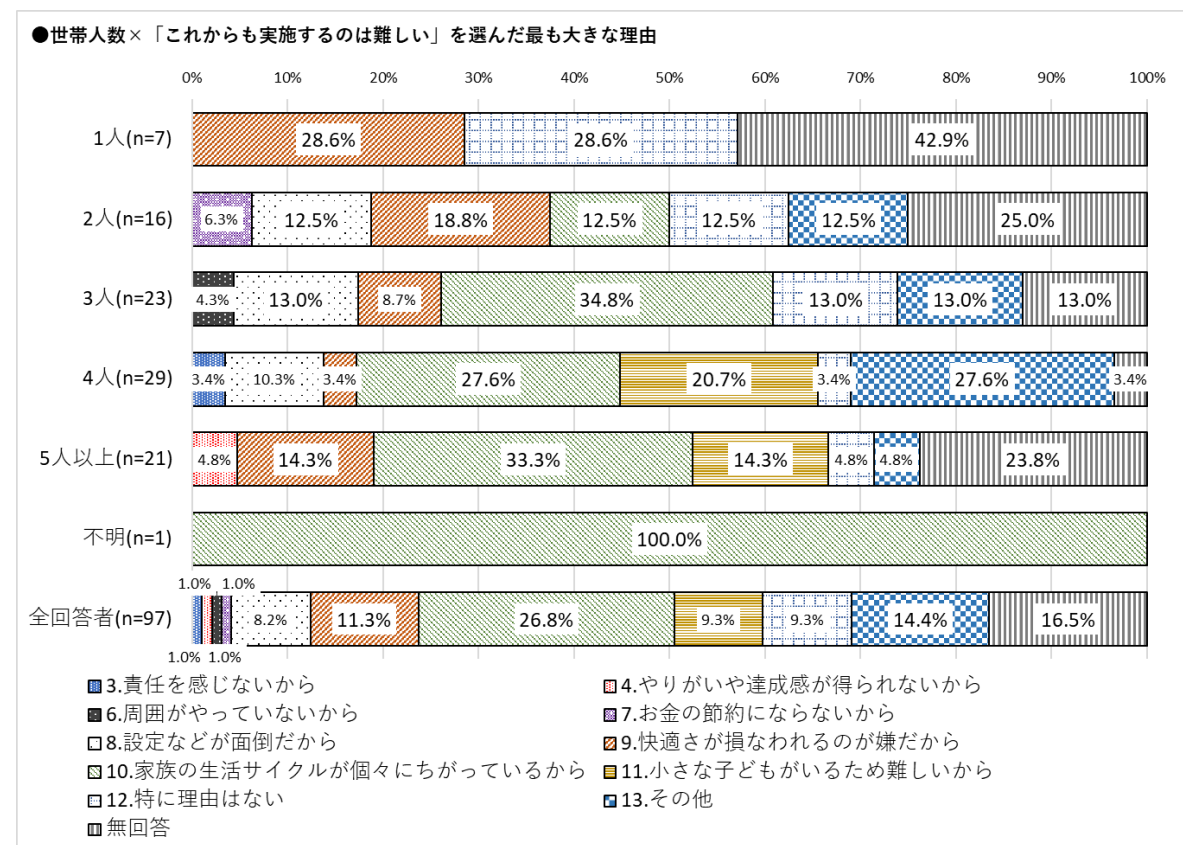
3.2.5 住宅別

- 回答者の住宅形態別に実施が難しい理由をみると、<集合住宅>居住の回答者は「設定などが面倒だから」「快適さが損なわれるのが嫌だから」「家族の生活サイクルが個々にちがっているから」「周囲がやっていないから」の割合が<一戸建て>居住回答者よりも高く、反対に、「小さな子どもがいるため難しいから」「特に理由はない」「責任を感じないから」「やりがいや達成感が得られないから」「お金の節約にならないから」は低くなっている。



3.2.6 世帯人数別

- サンプル数が少ないためいずれも参考値となることを前提に、回答者の家庭の世帯人数別に実施が難しい理由をみると、<3 人>世帯では、「家族の生活サイクルが個々にちがっているから」が最も高く、次いで「設定などが面倒だから」「特に理由はない」が高くなっている。
- <2 人>世帯では「快適さが損なわれるのが嫌だから」が最も多くなっている。
- <4 人><5 人以上>世帯では、「小さな子どもがいるため難しいから」が他世帯より多い。



4. 気候変動・省エネに関する認知度アンケート

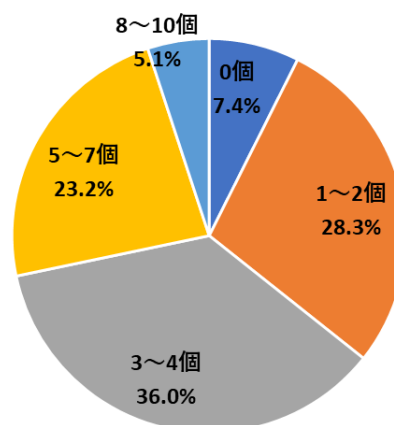
4.1.1 全体

- 気候変動・省エネに関係する 10 の事柄について、それぞれ知っているか否かたずねた設問では、「9.LED ランプはとても省エネであること」「10.十年前に比べて今の家電はとても省エネであること」については8割以上、「3.地球温暖化問題が異常気象などの様々なリスクに直面すること」については5割弱の人が「知っていた」と回答しており、認知度が高くなっている。
- 「7.環境省のウェブサイトしんきゅうさん」については6割超、「1.IPCC 評価報告書のこと」については5割弱が「全く知らなかった」と回答しており、認知度が低い。
- 「2.過去 100 年間で日本の気温が 1.14℃上昇していること」「3.地球温暖化の問題は、気温が高くなることのみでなく、すでに直面しつつあること」「4.将来予測で愛知県の真夏日が増加すると予測されていること」については、「聞いたことはある」が4-5割で、詳しくは知らないがなんとなく耳にしている人が多い話題であることがうかがえる。

		知っていた	聞いたことはある	全く知らなかった	無回答
1	気候変動について、世界の科学者の観測結果等を取りまとめた国際的な報告書「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）評価報告書」のことを…	12.1%	38.7%	48.5%	0.7%
2	過去100年間で日本の気温は1.14℃上昇しており、今世紀末に世界の平均気温は最大4.8℃の上昇（1986～2005年の平均比）が予測されていることを…	24.9%	47.1%	27.3%	0.7%
3	地球温暖化の問題は、気温が高くなることのみではなく、その影響により大雨・少雨、寒波・熱波などの「異常気象」が発生しやすくなり、既に私たちが直面しつつある様々なリスクであることを…	45.1%	41.8%	11.8%	1.3%
4	将来予測（2076～2095年）によると、愛知県の真夏日（最高気温30℃以上）の年間日数は、現在よりも約40日増加すると予測されていることを…	22.9%	40.1%	35.7%	1.3%
5	2015年にフランス・パリで開催された「COP21（気候変動枠組条約 第21回締約国会議）」のことを…	21.5%	37.4%	39.1%	2.0%
6	高断熱住宅はエネルギーの消費が少なくなるだけでなく、断熱性能の高い家へ引っ越すと病気になる率も激減したという調査結果があることを…	17.8%	33.0%	47.1%	2.0%
7	どの省エネ家電を選ぶと、電気代やCO ₂ 量をどのくらい少なくできるかが分かる環境省のウェブサイト「しんきゅうさん」のことを…	8.1%	27.9%	62.3%	1.7%
8	省エネ性能がわかりやすく表示されており、家電販売店等で家電を選ぶ目安になる「統一省エネラベル」のことを…	34.3%	32.7%	29.0%	4.0%
9	LEDランプはとても省エネであることを…	84.2%	11.4%	2.0%	2.4%
10	十年前の家電に比べると、今どきの冷蔵庫やテレビはとても省エネ（5割前後も省エネ）であることを…	82.2%	11.4%	4.4%	2.0%

- 10 項目のうち「知っていた」と答えた項目の数をみていくと、<3～4 個>の項目を知っていた回答者が 3 割超、次いで<1～2 個>の項目を知っていた回答者が 3 割弱を占め、10 項目のうち半数の<5 個>以上を知っていた回答者は計 3 割弱になっている。

●気候変動、省エネ等に関する認知度10項目で「知っていた」の数(n=297)

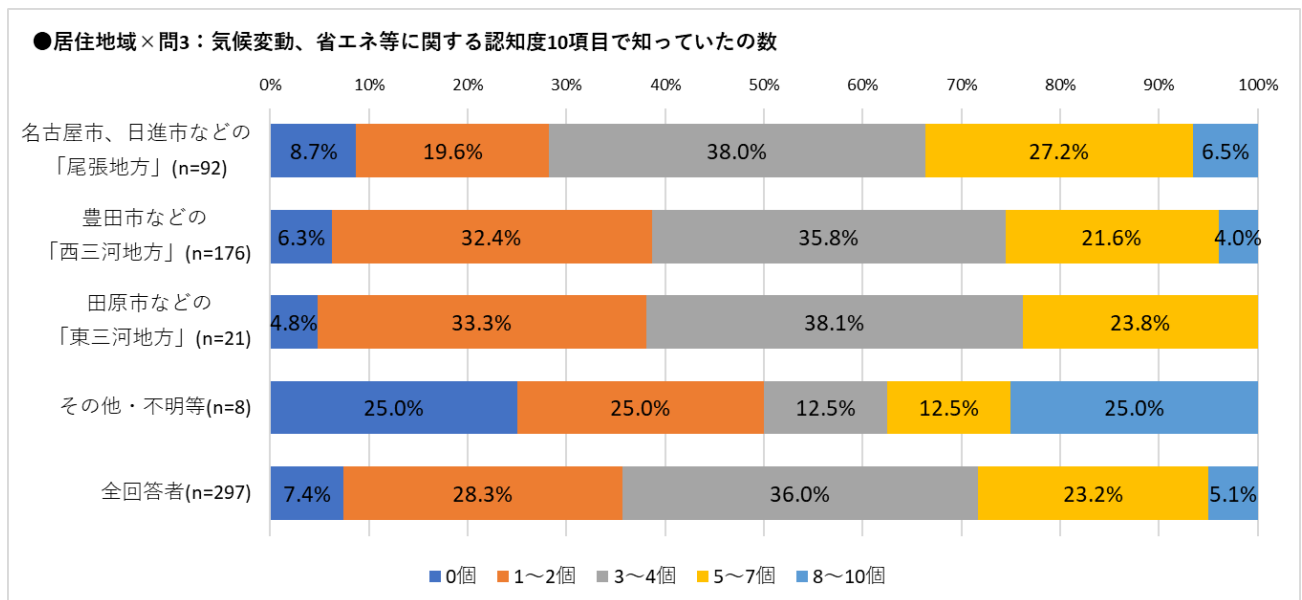


4.1.2 居住地域別

- 回答者の居住地域別に気候変動・省エネに関係する 10 の事柄に対する認知度をみると、各地域の傾向に大きな差異は見られない結果になっている。
- 3 地域を比較すると、<東三河地方>在住者の「5.2015 年にパリで開催された COP21 のこと」を「知っていた」とする割合が他 2 地域在住者に比べると高くなっている。
- 反対に、「1.IPCC 評価報告書のこと」「2.過去 100 年間で日本の気温が 1.14℃上昇していること」「7.環境省のウェブサイトしんきゅうさん」を「知っていた」の割合が低い。
- 「1.IPCC 評価報告書のこと」「2.過去 100 年間で日本の気温が 1.14℃上昇していること」「3.地球温暖化の問題は、気温が高くなることのみではなく、すでに直面しつつあるリスクであること」「4.将来予測によると愛知県の真夏日は現在より増加すること」「6.高断熱住宅はエネルギーの消費が少なくなり病気になる率も激減したこと」を「聞いたことはある」の割合は、各地域とも 3-5 割と比較的高い。
- 全般的に、<尾張地方>の「全く知らなかった」の割合が他の地域と比べて低い。

		「知っていた」			「聞いたことはある」			「全く知らなかった」		
居住地		名古屋市、日進市などの「尾張地方」 (n=92)	豊田市などの「西三河地方」 (n=176)	田原市などの「東三河地方」 (n=21)	名古屋市、日進市などの「尾張地方」 (n=92)	豊田市などの「西三河地方」 (n=176)	田原市などの「東三河地方」 (n=21)	名古屋市、日進市などの「尾張地方」 (n=92)	豊田市などの「西三河地方」 (n=176)	田原市などの「東三河地方」 (n=21)
気候変動、省エネ等に関する事柄										
1	気候変動について、世界の科学者の観測結果等を取りまとめた国際的な報告書「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）評価報告書」のことを…	12.0%	12.5%	4.8%	39.1%	38.1%	42.9%	47.8%	48.9%	52.4%
2	過去100年間で日本の気温は1.14℃上昇しており、今世紀末に世界の平均気温は最大4.8℃の上昇（1986～2005年の平均比）が予測されていることを…	26.1%	26.1%	9.5%	48.9%	44.9%	57.1%	23.9%	28.4%	33.3%
3	地球温暖化の問題は、気温が高くなることのみではなく、その影響により大雨・少雨、寒波・熱波などの「異常気象」が発生しやすくなり、既に私たちが直面しつつある様々なリスクであることを…	48.9%	43.2%	47.6%	42.4%	41.5%	38.1%	7.6%	14.2%	9.5%
4	将来予測（2076～2095年）によると、愛知県の真夏日（最高気温30℃以上）の年間日数は、現在よりも約40日増加すると予測されていることを…	29.3%	20.5%	19.0%	41.3%	40.3%	33.3%	27.2%	38.6%	42.9%
5	2015年にフランス・パリで開催された「COP21（気候変動枠組条約 第21回締約国会議）」のことを…	22.8%	18.2%	38.1%	43.5%	37.5%	14.3%	29.3%	43.8%	42.9%
6	高断熱住宅はエネルギーの消費が少なくなるだけでなく、断熱性能の高い家へ引っ越すと病気になる率も激減したという調査結果があることを…	17.4%	17.6%	19.0%	38.0%	30.1%	38.1%	40.2%	51.7%	38.1%
7	どの省エネ家電を選ぶと、電気代やCO ₂ 量をどのくらい少なくてできるかが分かる環境省のウェブサイト「しんきゅうさん」のことを…	14.1%	5.7%	0.0%	31.5%	24.4%	38.1%	53.3%	68.2%	57.1%
8	省エネ性能がわかりやすく表示されており、家電販売店等で家電を選ぶ目安になる「統一省エネラベル」のことを…	34.8%	33.5%	33.3%	35.9%	33.5%	19.0%	23.9%	30.7%	33.3%
9	LEDランプはとても省エネであることを…	87.0%	82.4%	90.5%	10.9%	12.5%	4.8%	0.0%	2.8%	0.0%
10	十年前の家電に比べると、今どきの冷蔵庫やテレビはとても省エネ（5割前後も省エネ）であることを…	85.9%	81.3%	76.2%	9.8%	11.9%	14.3%	2.2%	5.1%	4.8%

- 回答者の居住地域別に 10 項目のうち「知っていた」と答えた項目の数を見ると、<尾張地方>在住回答者の「知っていた」の数は「0 個」の回答も最も多い一方で、「8～10 個」の回答も最も多い。



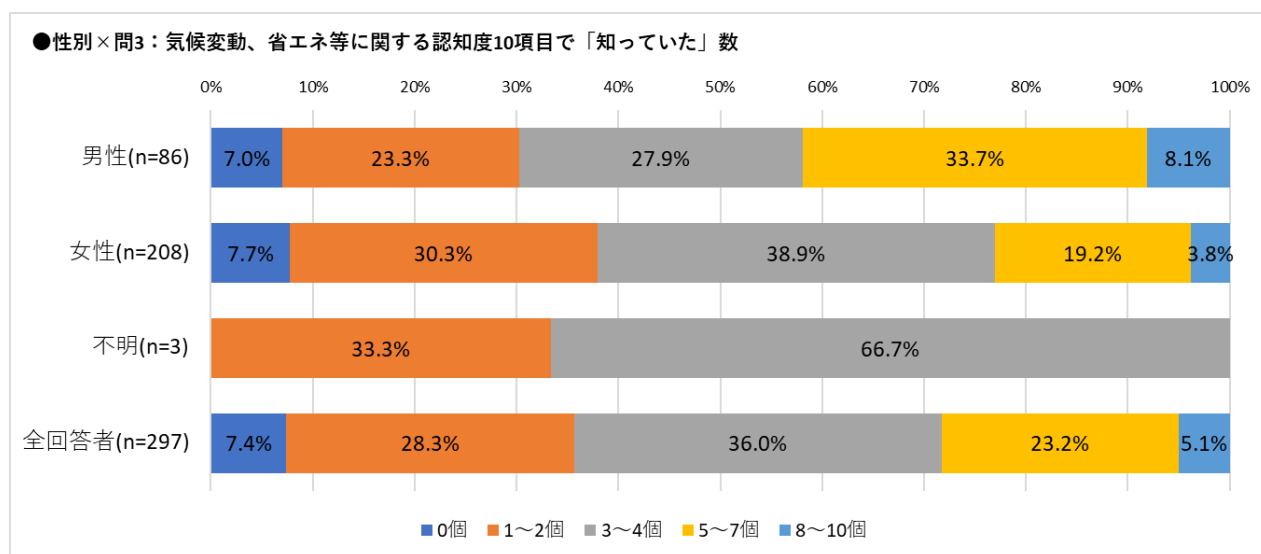
4.1.3 男女別

- 回答者の男女別に気候変動・省エネに係る 10 の事柄に対する認知度をみると、全般的に<男性>の「知っていた」割合が高い。
- 特に「5.2015 年にパリで開催された COP21 のこと」については、<男性>は 3 割強が「知っていた」と答えているが、<女性>は 1 割強ほどにとどまる。

		「知っていた」			「聞いたことはある」			「全く知らなかった」		
性別		男性 (n=86)	女性 (n=208)	不明 (n=3)	男性 (n=86)	女性 (n=208)	不明 (n=3)	男性 (n=86)	女性 (n=208)	不明 (n=3)
気候変動、省エネ等に関する事柄										
1	気候変動について、世界の科学者の観測結果等を取りまとめた国際的な報告書「気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 評価報告書」のことを…	24.4%	7.2%	0.0%	33.7%	40.9%	33.3%	39.5%	51.9%	66.7%
2	過去100年間で日本の気温は1.14℃上昇しており、今世紀末に世界の平均気温は最大4.8℃の上昇 (1986～2005年の平均比) が予測されていることを…	36.0%	20.7%	0.0%	39.5%	50.5%	33.3%	22.1%	28.8%	66.7%
3	地球温暖化の問題は、気温が高くなることのみではなく、その影響により大雨・少雨、寒波・熱波などの「異常気象」が発生しやすくなり、既に私たちが直面しつつある様々なりスクであることを…	48.8%	44.2%	0.0%	43.0%	40.4%	100.0%	5.8%	14.4%	0.0%
4	将来予測 (2076～2095年) によると、愛知県の真夏日 (最高気温30℃以上) の年間日数は、現在よりも約40日増加すると予測されていることを…	26.7%	21.6%	0.0%	40.7%	39.4%	66.7%	30.2%	38.0%	33.3%
5	2015年にフランス・パリで開催された「COP21 (気候変動枠組条約 第21回締約国会議)」のことを…	36.0%	15.9%	0.0%	40.7%	36.5%	0.0%	19.8%	46.2%	100.0%
6	高断熱住宅はエネルギーの消費が少なくなるだけでなく、断熱性能の高い家へ引っ越すと病気になる率も激減したという調査結果があることを…	20.9%	16.3%	33.3%	40.7%	30.3%	0.0%	33.7%	52.4%	66.7%

		「知っていた」			「聞いたことはある」			「全く知らなかった」		
性別		男性 (n=86)	女性 (n=208)	不明 (n=3)	男性 (n=86)	女性 (n=208)	不明 (n=3)	男性 (n=86)	女性 (n=208)	不明 (n=3)
気候変動、省エネ等に関する事柄										
7	どの省エネ家電を選ぶと、電気代やCO ₂ 量をどのくらい少なくできるかが分かる環境省のウェブサイト「しんきゅうさん」のことを…	10.5%	7.2%	0.0%	31.4%	26.4%	33.3%	55.8%	64.9%	66.7%
8	省エネ性能がわかりやすく表示されており、家電販売店等で家電を選ぶ目安になる「統一省エネラベル」のことを…	37.2%	33.2%	33.3%	34.9%	32.2%	0.0%	24.4%	30.3%	66.7%
9	LEDランプはとても省エネであることを…	82.6%	84.6%	100.0%	12.8%	11.1%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%
10	十年前の家電に比べると、今どきの冷蔵庫やテレビはとても省エネ（5割前後も省エネ）であることを…	75.6%	84.6%	100.0%	18.6%	8.7%	0.0%	2.3%	5.3%	0.0%

- 回答者の男女別に10項目のうち「知っていた」と答えた項目の数をみていくと、<女性>よりも<男性>の「知っていた」項目数が多くなっている。



4.1.4 年齢別

- 回答者の年齢別に気候変動・省エネに関係する10の事柄に対する認知度をみると、全般的に<30代>の回答者で、「知っていた」の割合が低い傾向にある。
- 「2.過去100年間で日本の気温が1.14℃上昇していること」については、<40代>以上では2割超が「知っていた」と答えているが、<30代>は1割にとどいていない。
- 「全く知らなかった」の割合をみると、<30代><40代>は全般的に<50代>以上に比べて知らなかったと答える割合が高くなっている。

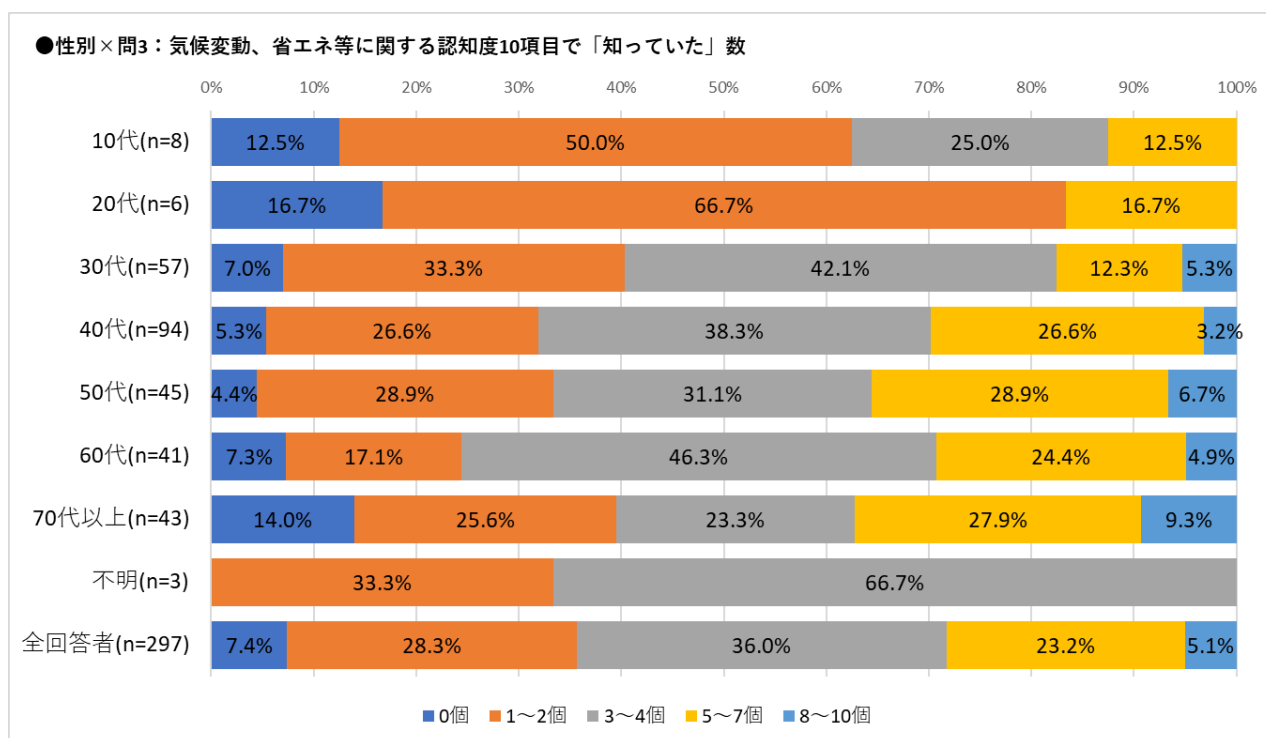
- 特に「7.環境省のウェブサイトしんきゅうさん」については、<70代以上>の「全く知らなかった」が3割弱であるのに対し、<30代>では7割、<40代>では8割弱が「全く知らなかった」と答えている。
- また、「2.過去100年間で日本の気温が1.14℃上昇していること」「4.将来予測で愛知県の真夏日が増加すると予測されていること」についても、<30代><40代>の認知度が低くなっている。

		「知っていた」				
年齢		30代 (n=57)	40代 (n=94)	50代 (n=45)	60代 (n=41)	70代以上 (n=43)
気候変動、省エネ等に関する事柄						
1	気候変動について、世界の科学者の観測結果等を取りまとめた国際的な報告書「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）評価報告書」のことを…	8.8%	10.6%	13.3%	19.5%	16.3%
2	過去100年間で日本の気温は1.14℃上昇しており、今世紀末に世界の平均気温は最大4.8℃の上昇（1986～2005年の平均比）が予測されていることを…	8.8%	26.6%	31.1%	29.3%	34.9%
3	地球温暖化の問題は、気温が高くなることのみではなく、その影響により大雨・少雨、寒波・熱波などの「異常気象」が発生しやすくなり、既に私たちが直面しつつある様々なリスクであることを…	33.3%	55.3%	42.2%	46.3%	48.8%
4	将来予測（2076～2095年）によると、愛知県の真夏日（最高気温30℃以上）の年間日数は、現在よりも約40日増加すると予測されていることを…	15.8%	19.1%	28.9%	29.3%	37.2%
5	2015年にフランス・パリで開催された「COP21（気候変動枠組条約 第21回締約国会議）」のことを…	14.0%	17.0%	26.7%	29.3%	27.9%
6	高断熱住宅はエネルギーの消費が少なくなるだけでなく、断熱性能の高い家へ引っ越すと病気になる率も激減したという調査結果があることを…	17.5%	16.0%	24.4%	14.6%	18.6%
7	どの省エネ家電を選ぶと、電気代やCO ₂ 量をどのくらい少なくできるかが分かる環境省のウェブサイト「しんきゅうさん」のことを…	5.3%	6.4%	8.9%	7.3%	16.3%
8	省エネ性能がわかりやすく表示されており、家電販売店等で家電を選ぶ目安になる「統一省エネラベル」のことを…	38.6%	38.3%	35.6%	31.7%	27.9%
9	LEDランプはとても省エネであることを…	82.5%	88.3%	86.7%	85.4%	72.1%
10	十年前の家電に比べると、今どきの冷蔵庫やテレビはとても省エネ（5割前後も省エネ）であることを…	82.5%	88.3%	88.9%	82.9%	69.8%

		「聞いたことはある」				
年齢		30代 (n=57)	40代 (n=94)	50代 (n=45)	60代 (n=41)	70代以上 (n=43)
気候変動、省エネ等に関する事柄						
1	気候変動について、世界の科学者の観測結果等を取りまとめた国際的な報告書「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）評価報告書」のことを…	24.6%	38.3%	44.4%	41.5%	48.8%
2	過去100年間で日本の気温は1.14℃上昇しており、今世紀末に世界の平均気温は最大4.8℃の上昇（1986～2005年の平均比）が予測されていることを…	49.1%	40.4%	46.7%	48.8%	53.5%
3	地球温暖化の問題は、気温が高くなることのみではなく、その影響により大雨・少雨、寒波・熱波などの「異常気象」が発生しやすくなり、既に私たちが直面しつつある様々なリスクであることを…	45.6%	29.8%	46.7%	48.8%	41.9%
4	将来予測（2076～2095年）によると、愛知県の真夏日（最高気温30℃以上）の年間日数は、現在よりも約40日増加すると予測されていることを…	38.6%	37.2%	44.4%	41.5%	41.9%
5	2015年にフランス・パリで開催された「COP21（気候変動枠組条約 第21回締約国会議）」のことを…	24.6%	45.7%	35.6%	36.6%	46.5%
6	高断熱住宅はエネルギーの消費が少なくなるだけでなく、断熱性能の高い家へ引っ越すと病気になる率も激減したという調査結果があることを…	28.1%	26.6%	28.9%	48.8%	46.5%
7	どの省エネ家電を選ぶと、電気代やCO ₂ 量をどのくらい少なくできるかが分かる環境省のウェブサイト「しんきゅうさん」のことを…	22.8%	12.8%	22.2%	51.2%	51.2%
8	省エネ性能がわかりやすく表示されており、家電販売店等で家電を選ぶ目安になる「統一省エネラベル」のことを…	31.6%	30.9%	31.1%	36.6%	37.2%
9	LEDランプはとても省エネであることを…	10.5%	8.5%	13.3%	9.8%	18.6%
10	十年前の家電に比べると、今どきの冷蔵庫やテレビはとても省エネ（5割前後も省エネ）であることを…	10.5%	6.4%	8.9%	12.2%	18.6%

		「全く知らなかった」				
年齢		30代 (n=57)	40代 (n=94)	50代 (n=45)	60代 (n=41)	70代以上 (n=43)
気候変動、省エネ等に関する事柄						
1	気候変動について、世界の科学者の観測結果等を取りまとめた国際的な報告書「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）評価報告書」のことを…	66.7%	50.0%	42.2%	36.6%	34.9%
2	過去100年間で日本の気温は1.14℃上昇しており、今世紀末に世界の平均気温は最大4.8℃の上昇（1986～2005年の平均比）が予測されていることを…	42.1%	31.9%	22.2%	19.5%	11.6%
3	地球温暖化の問題は、気温が高くなることのみではなく、その影響により大雨・少雨、寒波・熱波などの「異常気象」が発生しやすくなり、既に私たちが直面しつつある様々なリスクであることを…	21.1%	13.8%	11.1%	2.4%	4.7%
4	将来予測（2076～2095年）によると、愛知県の真夏日（最高気温30℃以上）の年間日数は、現在よりも約40日増加すると予測されていることを…	45.6%	42.6%	26.7%	24.4%	18.6%
5	2015年にフランス・パリで開催された「COP21（気候変動枠組条約 第21回締約国会議）」のことを…	61.4%	36.2%	37.8%	26.8%	20.9%
6	高断熱住宅はエネルギーの消費が少なくなるだけでなく、断熱性能の高い家へ引っ越すと病気になる率も激減したという調査結果があることを…	54.4%	56.4%	46.7%	31.7%	27.9%
7	どの省エネ家電を選ぶと、電気代やCO ₂ 量をどのくらい少なくできるかが分かる環境省のウェブサイト「しんきゅうさん」のことを…	70.2%	79.8%	68.9%	39.0%	27.9%
8	省エネ性能がわかりやすく表示されており、家電販売店等で家電を選ぶ目安になる「統一省エネラベル」のことを…	26.3%	29.8%	33.3%	22.0%	23.3%
9	LEDランプはとても省エネであることを…	5.3%	2.1%	0.0%	0.0%	2.3%
10	十年前の家電に比べると、今どきの冷蔵庫やテレビはとても省エネ（5割前後も省エネ）であることを…	5.3%	4.3%	2.2%	2.4%	4.7%

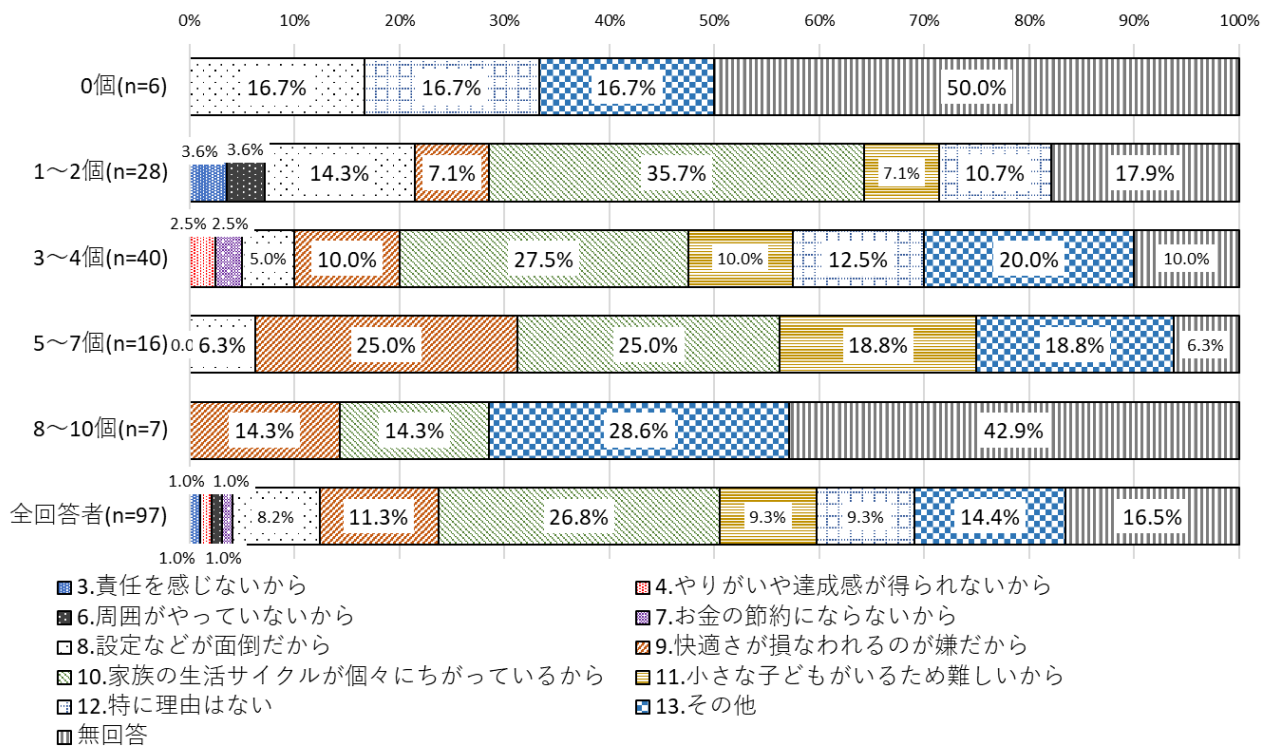
- 回答者の年齢別に 10 項目のうち「知っていた」と答えた項目の数をみていくと、年齢が高くなるほど「知っていた」の数が増える傾向がみられる。



4.1.5 「知っていた」の項目数別にみた省エネ行動が難しい理由

- 10 項目のうち「知っていた」と答えた項目数別に、家電の省エネ行動で「これからも実施するのは難しい」を選んだ最も大きな理由をみると、「知っていた」項目数の多い回答者ほど「家庭の生活サイクルが個々にちがっているから」の割合が低い。
- 反対に、「知っていた」項目数が少ない回答者ほど、「快適さが損なわれるのが嫌だから」の割合が低くなっている。

●気候変動、省エネ等に関する認知度10項目で「知っていた」の数×「これからも実施するのは難しい」を選んだ最も大きな理由



5. 自由記入欄に記述された意見

省エネ等で取り組んでいることや疑問に思っていること、調査の感想などを、調査票末尾の自由記入欄に8名が記述をした。その内容は下記の通りである。

無駄はダメ。
原子力発電の続行不可。停止すべきだ。
電球をとりかえるのが大変なので、低い位置に電球をつけることはできないのか。
屋外と比ベビル内の温度が低すぎるが多いように思います。
2重窓はどのくらい省エネできるか？
無駄な物を買わない。物を大切に長いこと使用する。
ひとりでも多くの人に伝える。興味をもっていただきたいです。
これから勉強です。